



エコアクション21<sup>®</sup>

# エコアクション21

## 環境活動レポート



第52期

(2018年10月～2019年9月)

発行日 2019年10月30日

株式会社 カンサイ

ご挨拶	2
01. 会社概要・沿革等	3
02. 環境方針等	4
03. 推進体制並びに責任と権限	
(1) 推進体制	5
(2) 責任と権限	5
04. カンサイにおけるSDGs	6
05. 環境負荷の実績と考察48期～52期	
(1) 実績	7～8
(2) 考察	8
06. 52期の環境活動計画と中期目標	
(1) 52期の環境活動計画	9
(2) 中期環境目標	10
07. 52期各部署取組みと実績・評価(環境負荷低減)	11～22
08. 52期各部署取組みと実績・評価(環境改善)	23～25
09. 52期各部署取組み(コミュニケーション)	26～28
10. 52期の取組み(教育)	29～32
11. 52期の取組み(安全衛生)	33～34
12. 情報公開	35～40
13. リサイクル製品	41
14. 53期の活動計画	42
15. 第三者意見	43
16. 代表者による全体評価と見直しの結果	44
17. 編集後記	44

## 原点

株式会社カンサイは、1968年の創業以来「人と人との調和 人と自然との調和を大切に」という考えのもと、廃棄物処理業・リサイクル業を追求してきました。  
また、2013年4月、企業理念として、

全従業員の物心両面の幸せを追求するとともに、  
併せて人類と自然との調和を大切にする

を制定しました。これは株式会社カンサイの企業活動の原点であり、判断や行動の拠り所になるものです。目先の利益にとらわれるのではなく、全社員が人として何が正しいのかを基準に考え行動し続けることにより、安心・安全なサービスを提供できると考えています。

## 創意工夫

株式会社カンサイは、「廃棄物処理」を起点に事業を拡大してきました。また自然環境の保全、資源の有効利用を推進する循環型社会基本法、個別物品に応じたリサイクル関連法が制定されました。そうした社会背景から、当社に廃棄物処理をご依頼くださるお客様のニーズも多様化しています。車両の更新、廃棄物処理施設・リサイクル施設の高度化は元より、ニーズにお応えするための技術革新、そして進化をもたらす人材育成に努め、社会からの期待に応え、さらなる成長をめざしていきます。

## 調和

株式会社カンサイは、「人・社会・環境」との調和を図ることで、社会から存在意義を認めていただける企業であり続けたいと考えています。工場見学者の受入、情報開示、地域交流や協賛を長期に渡って取組んでまいりました。

また、社会貢献活動の一環として、平成17年に循環型農園「きなり村」を開設いたしました。食に対する関心が高まっている中、当社のリサイクル製品である肥料を使用し、化学肥料や農薬を使用しない有機農法によって作物を栽培し、都市部へ循環させるという取組みを行っています。

これからも「人と自然との調和を大切に」し、社会との共生を図り、「環境創造総合企業」として社会の持続的発展に貢献し続けたいと考えています。

株式会社 カンサイ  
代表取締役

川本 義二



# 会社概要

## 会社概要

会社名	株式会社カンサイ		
所在地	広島県広島市佐伯区五日市町大字石内460番地 TEL：(082) 941-1641 FAX：(082) 941-1715		
代表者	代表取締役	川本	義二
環境管理責任者	環境事業部部长	北川	貴伸
従業員数	45名		
敷地面積	13,838m <sup>2</sup>		
資本金	18.4百万円		
中間処理量	第52期	13,833 t	
収集運搬量	第52期	6,214 t	
売上高	第52期	787百万円	
URL	<a href="http://ekansai.co.jp">http://ekansai.co.jp</a>		
事業内容	一般廃棄物、産業廃棄物収集運搬処理 建設土木工事 総合リサイクル業 環境衛生プラントのメンテナンス 環境計量証明事業 肥料製造業 上下水道の調査		



## 沿革

1968年2月  
関西特殊産業として産業廃棄物処理を目的に設立  
1972年9月  
産業廃棄物の収集運搬処理の許可を取得  
1979年7月  
ロータリーキルン式焼却炉を設置  
1979年10月  
汚泥肥料生産 肥料生産販売業届出  
1982年4月  
環境計量室を新設  
1985年12月  
倉橋工場を新設 肥料の生産

1991年10月  
回転炉床式焼却炉を設置  
1998年10月  
株式会社カンサイに社名変更  
2010年2月  
エコアクション21認証取得  
2014年7月  
広島県特別管理廃棄物収集運搬業許可の優良認定  
2014年10月  
川本義二社長就任  
2015年10月  
回転炉床式焼却炉にバグフィルターを設置

### 社 是

人と人との調和  
人と自然との調和を大切に

### 企業理念

全従業員の物心両面の幸せを追求するとともに  
併せて人類と自然（全人類 大自然）との調和を大切にする

### 環境方針

「人と自然との調和を大切に」

私たちは、人と自然との調和を大切にし、地域社会と利害関係者とのふれ合いを図り、技術と知恵と勇気を持って環境問題に積極的に取り組み、広く社会に貢献できる企業を目指します。

### 行動指針

私たちは省エネ・省資源をはじめ、地球環境の保全と、資源の有効利用に弛まない努力と創意工夫を行い地域社会の一員として健全なる社会の発展に貢献いたします。

### 基本方針

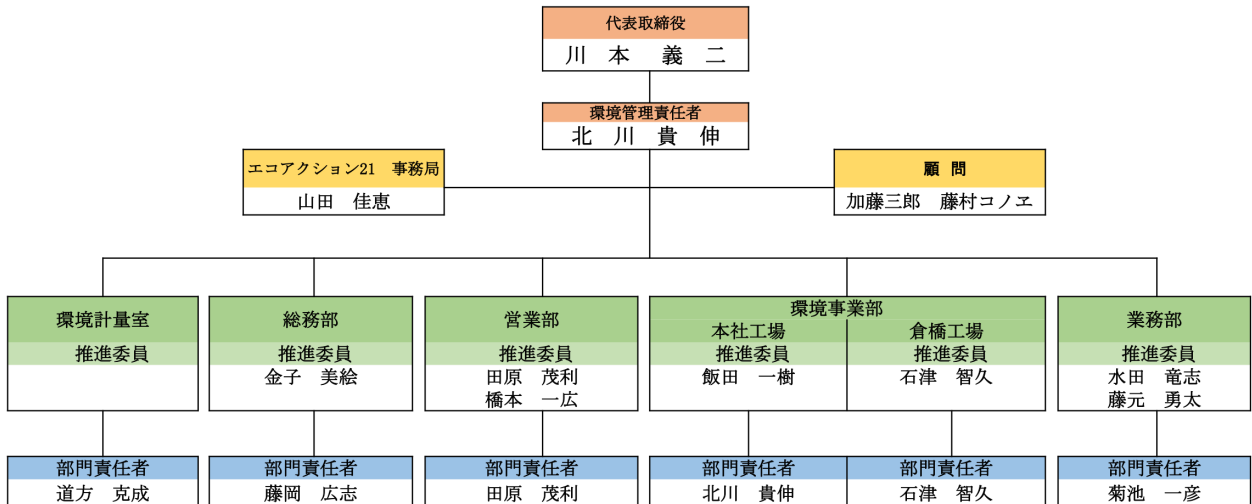
1. 資源の節約と再利用を促進し、環境と資源の保全に努めます。
  - CO<sub>2</sub>排出量の低減や森林資源の保護、バイオマス利活用によるCO<sub>2</sub>吸収、エネルギーの有効活用等に寄与します。
  - 廃棄物の削減、資源化率の向上を推進いたします。
  - 資源循環の技術開発を積極的に推進いたします。
2. 事業に関連する全ての法律を遵守します。
3. 環境マネジメントシステムの効率的な運用を行い、環境負荷の低減に努めます。
4. 情報はホームページ、電子掲示板、ポスター等により、全ての関係者に広く公開いたします。

制定 2009年10月1日  
改訂 2014年 3月1日

株式会社 カンサイ

代表取締役 川本 義二

## (1) 推進体制



当社はエコアクション21推進委員会を中心とした体制で、環境対応に取り組んでいます。

## (2) 責任と権限

責任及び権限	
統括 (代表取締役)	①環境方針の策定と全従業員への周知 ②環境管理責任者の任命 ③運用に必要な人材、設備、時間の準備 ④全体の取組み状況の評価、見直し
環境管理責任者	①環境活動の取組み結果を代表者へ報告 ②環境力道場の開催
エコアクション21 推進責任者	①エコアクション21事務局の総括 ②一般教育の計画、実施 ③環境力道場の運営
エコアクション21 事務局	①環境データの集計、取りまとめ ②環境関連文書及び記録の管理 ③外部からの環境に関する苦情、要望の受付及び対応
推進委員	①各部門における環境活動の管理 ②環境活動の実績の把握と事務局への報告
部門責任者	①自部門の環境活動の責任 ②実務教育・訓練（専門教育）の計画、実施
全従業員	①環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 ②決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

## SDGsとは (Sustainable Development Goals)

SDGsは2000年の国連サミットで採択されたMDGs (Millennium Development Goals) が2015年に達成期限を迎えたことを受け、新たな世界の目標として2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟国193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた17の目標です。

MDGsが先進国による途上国支援を中心とする内容であったのに対して、SDGsは先進国と途上国が一丸となって達成すべき目標で構成されていることが特徴です。

カンサイでも、様々な活動を通じて目標達成に貢献しています。



	SDGs目標	カンサイの取組みと掲載ページ
	質の高い教育をみんなに	環境力道場で知識を知恵に変え実働にいかす 理念手帳を用いて社員の共通認識を高める・・・ P31
	ジェンダー平等を実現しよう	セクハラ・パワハラ教育で撲滅・・・ P29
	安全な水とトイレを世界中に	工場で使用する水の節水に努める 上下水処理場清掃での水資源管理・・・ P 13,14,24
	働きがいも経済成長も	家族会開催で家族的経営を目指す・・・ P27
	住み続けられるまちづくりを	清掃活動を通して地域貢献・・・ P26
	つくる責任 つかう責任	リサイクル肥料製造と販売で環境にやさしい肥料の提供 グリーン購入で環境配慮商品の購入管理・・・ P 19,41
	気候変動に具体的な対策を	化石燃料使用量を削減しCO <sub>2</sub> 排出量を抑制する・・・ P 11,12,14~16,18,19
	陸の豊かさも守ろう	安心安全な生活環境を環境分析で支援する・・・ P25

## (1) 実績

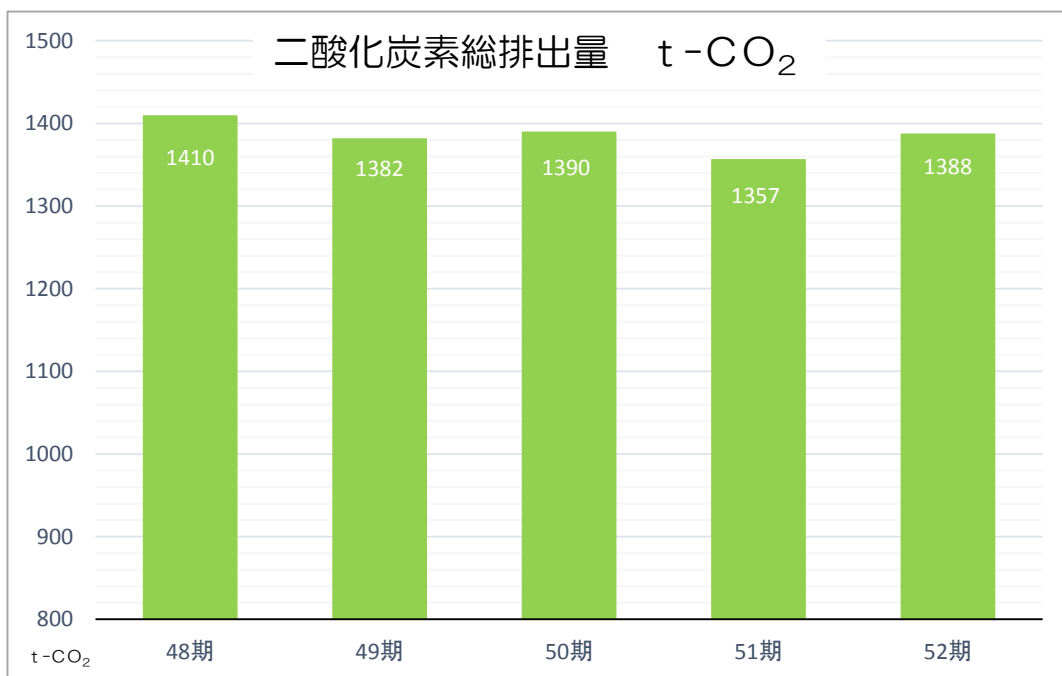
		単位	48期	49期	50期	51期	52期	排出係数	単位	52期CO <sub>2</sub> 排出量
二酸化炭素等 給排出量	電力 (本社工場・倉橋場)	kWh	664,915	727,601	736,105	729,526	692,673	* 0.694	t-CO <sub>2</sub>	481
		前年対比%	17%↓	9%↑	1%↑	1%↓	5%↓		前年対比%	5% ▼
	電力 (事務所・休憩所)	kWh	232,210	84,631	82,293	94,604	84,290	* 0.694	t-CO <sub>2</sub>	58
		前年対比%	4%↑	64%↓	3%↓	15%↑	11%↓		前年対比%	12% ▲
	灯油	ℓ	745	-	-	-	-	0.0679	t-CO <sub>2</sub>	増減なし
		前年対比%	39%↓	-	-	-	-		前年対比%	
	A重油	ℓ	116,088	137,450	137,378	131,705	153,665	0.0693	ℓ	416
		前年対比%	47%↓	18%↑	0.1%↓	4%↓	17%↑		前年対比%	17% ▲
	LPG	kg	492	699	664	692	344	0.0598	t-CO <sub>2</sub>	1
		前年対比%	7%↓	42%↑	5%↓	4%↑	50%↑		前年対比%	50% ▲
	ガソリン	ℓ	16,495	11,967	11,841	11,720	12,327	0.0671	t-CO <sub>2</sub>	28
		前年対比%	3%↓	28%↓	1.1%↓	1%↓	5%↑		前年対比%	5% ▲
	軽油	ℓ	133,797	145,220	146,897	151,770	153,699	0.0687	t-CO <sub>2</sub>	404
		前年対比%	3%↓	9%↑	1.2%↑	3%↑	1%↑		前年対比%	3% ▲
合計	t-CO <sub>2</sub>	1,410	1,382	1,390	1,357	1,388		t-CO <sub>2</sub>	1,388	
	前年対比%	20%↓	2%↓	0.6%↑	2.4%↓	2%↑		前年対比%	2% ▲	
総排水量 (事務所・倉橋工場)	m <sup>3</sup>	1,419	1,533	1,461	1,378	1,199		m <sup>3</sup>	1,199	
	前年対比%	2%↑	8%↑	5%↓	6%↓	13%↓		前年対比%	13% ▼	
廃棄物排出量	t	6,978	5,741	5,367	5,697	5,116		t	5,116	
	前年対比%	45%↑	18%↓	7%↓	6%↑	10%↓		前年対比%	10% ▼	

▲ : 前年対比増加      ▼ : 前年対比減少

※二酸化炭素排出量は、エネルギー種類ごとに消費量×二酸化炭素排出係数×単位発熱量を掛け合わせた数字です。この表では各期の消費量の実績と52期二酸化炭素排出量を掲載しています。

※環境省2014年公表電力事業社別CO<sub>2</sub>排出係数は、中国電力0.719kg-CO<sub>2</sub>/kWhですが、前年との比較と経過観察のため、47期～50期までは環境省2013年公表電気事業者別CO<sub>2</sub>排出係数（中国電力0.738kg-CO<sub>2</sub>/kWh）を使用。51期～53期は最新排出係数（中国電力0.694kg-CO<sub>2</sub>）を使用します。





## (2) 考察

CO<sub>2</sub>総排出量は、前期と比較して31 t-CO<sub>2</sub>の増加となりました。仕事量の増加により本社工場A重油・電力使用量等が前期と比べて58 t-CO<sub>2</sub>増加したことが大きな要因です。しかし、倉橋工場では、発酵槽ブロワの更新により前期に比べて、電力使用量が減り10 t-CO<sub>2</sub>の削減となりました。事務所電力は、目標にはあと少し足りませんでした。前期と比べて9 t-CO<sub>2</sub>の削減となりました。インパクトの大きな本社工場の削減が限界に近づきつつありますが、その他の部署の取組みによって全体の排出量の大幅な増加を抑えることができました。

本社工場は、A重油使用量・電力使用量について、ここ数年削減できていません。燃料をA重油からガス等に変更することも考えられます。しかし、そのためには設備の更新により多額な設備投資が必要となることから、当面は温度管理の徹底や機器更新時に環境配慮機器を選定するなどの地道な取組みを継続していきます。

倉橋工場は、発酵槽ブロワ設備を見直したことにより電力使用量が削減できました。53期はまだ着手していない発酵槽設備の更新を進めて削減に努めていきます。

業務部は、新入社員も増えたため、今一度アイドリングストップや定期メンテナンスなど原点に立ち返り教育して、燃料使用量の削減に努めていきます。

本社事務所は、あと少しで目標達成できませんでした。総務部が主体となってこまめな節電に注意を払い53期は目標達成できるように努力していきます。

営業部は、燃費の悪い営業車両をピックアップして車両入替えを行い燃料使用量の削減に努めます。

取組みを継続していく中で、特に本社工場や車両の燃料使用量は削減が困難になってきているのが現状です。しかし、倉橋工場は取組みが功を奏して削減できています。取組みの余地がある部署は積極的に取組み、そうでない部署は、今できる取組みを積重ねて会社全体でCO<sub>2</sub>排出量を増やさない努力をしていきます。また、来年からパリ協定が本格的に始動しますので、日本や世界の情勢にも注意をしてカンサイに合った取組み事例があれば取り入れていきたいと思えます。

## (1) 52期の環境活動計画

	目標	活動内容	実施時期	該当部門
重点取組み	環境力道場での社員教育	基本的な環境問題の講義 部署内の課題を抽出し、解決する 部署ごとに3ヶ年計画を策定する	通年	全社員

※52期も引き続き、環境力道場を部署単位で開催して、全社員のレベルアップと共通認識を図ることに重点を置いた社員教育に取組みました。

	目標	活動内容	実施時期	該当部門
1. 環境	(1) 回転炉床・ロータリーキルンの重油使用量の削減	管理体制の強化、随時改善する プラント運転管理者の技術の向上	通年	本社工場
	(2) 業務車両のガソリン・軽油使用量の削減	ドライブレコーダーの運用 および管理体制の強化	通年	業務部
	(3) 営業車両のガソリン使用量の削減	エコ運転の教育・徹底	通年	営業部
	(4) 重機の軽油使用量の削減	点検マニュアルの改善 および管理体制の強化	通年	倉橋工場
	(5) 事務所電力使用量の削減	こまめな節電 照明のLED化	通年	環境計量室
	(6) ムリ・ムダ・ムラの排除	仕事内容の精査と見直し	通年	全社員
	(7) 場内全域の環境対策	受入れ設備の改良・飛散防止対策	通年	本社工場
	(8) 施設の改善	分別機の稼働 老朽設備の更新計画の作成と実施	通年	本社工場 倉橋工場
	(9) 在庫管理の強化	搬入物の管理による処理計画と実施	通年	本社工場 倉橋工場
	(10) 緊急事態（自然災害）への対応	自然災害へのリスク調査（中期計画）	通年	本社工場 倉橋工場
	(11) 各環境測定の実施	ダイオキシン測定ほか	通年	本社工場
	(12) 燃え殻・汚泥・肥料・排水維持管理	分析及び各部署への伝達	通年	環境計量室
	(13) 環境活動レポートの作成	11月初旬に51期版を発行	9～10月	EA21推進メンバー
2. コミュニケーション	(1) ステークホルダーからの要望への対応	お客様の要望・意見・提案を回覧と共有	通年	全部署
	(2) 情報の共有化	新システム運用によるスケジュール管理	通年	営業部
	(3) 社員とのつながり	毎月誕生日の人をお祝する 永年勤続者の表彰	通年	総務部
	(4) 家族とのつながり	社内報の内容を充実させる 家族見学会の企画・実施	年2回 6月	営業部 総務部
	(5) ステークホルダーとのつながりの拡充	地域清掃活動への参加	通年	営業部
	(6) 仕事の共有と効率化	経営企画会議の開催	年2回	各部門長
	(7) 見学者の受け入れ拡充	部署間での事前協議	通年	営業部
	(8) 積極的な情報公開	ホームページの充実	通年	総務部
3. 教育	(1) 自社活動内容の理解度向上	年1回全体教育の実施	5月	EA21事務局
	(2) 資格取得へのチャレンジ	リストアップと計画取得	通年	全部署
	(3) 知識の向上	随時各講習会、講義の参加	通年	全部署
4. 安全衛生	(1) 1年間無事故無災害	指差し確認の徹底と啓発	通年	本社工場 倉橋工場 業務部
	(2) 交通事故の防止	事故事例の再検証	通年	業務部
	(3) 飲酒運転禁止	アルコールチェッカーの運用 (基準値0mg)	通年	業務部
	(4) 5S活動の推進 (整理・整頓・清掃・清潔・躰)	毎週金曜日の清掃活動	通年	全部署
	(5) 安全衛生協議	月次報告会内にて設置	月/1回	EA21事務局

作成日 2018年9月10日

## (2) 中期環境目標

取組み事項		53期 (2019年10月～ 2020年9月)	54期 (2020年10月～ 2021年9月)	55期 (2021年10月～ 2022年9月)
全体	CO <sub>2</sub> 総排出量 (基準年50期～52期平均)	1,364.5	1,350.9	1,337.4
	CO <sub>2</sub> 排出量の削減 (基準年50期～52期平均)	0.1%削減	0.1%削減	0.1%削減
本社工場	回転炉床A重油使用CO <sub>2</sub> の削減(t-CO <sub>2</sub> )	197.2	197.2	197.2
	回転炉床A重油使用量の削減(ℓ)	72,777	72,777	72,777
	ロータリーキルンA重油使用CO <sub>2</sub> の削減(t-CO <sub>2</sub> )	184.6	184.6	184.6
	ロータリーキルンA重油使用量の削減(ℓ)	68,139	68,139	68,139
	回転炉床電力使用CO <sub>2</sub> の削減(t-CO <sub>2</sub> )	238.7	238.7	238.7
	回転炉床電力使用量の削減(kWh)	343,930	343,930	343,930
業務部	業務車両CO <sub>2</sub> 排出量の削減(t-CO <sub>2</sub> )	256.8	254.2	251.7
営業部	営業車両CO <sub>2</sub> 排出量の削減(t-CO <sub>2</sub> )	20.5	20.3	20.1
	営業車両ガソリン使用量の削減(ℓ)	8,811	8,744	8,658
事務所	電力使用CO <sub>2</sub> 排出量の削減(t-CO <sub>2</sub> )	38.9	38.5	38.1
	電力使用量の削減(kWh)	56,052	55,476	54,899
倉橋工場	軽油使用CO <sub>2</sub> の削減(t-CO <sub>2</sub> )	76.0	75.2	74.5
	軽油使用量の削減(ℓ)	28,960	28,655	28,388
	電力使用CO <sub>2</sub> 排出量の削減(t-CO <sub>2</sub> )	152.3	137.1	123.4
	電力使用量の削減(kWh)	219,452	197,550	177,810

※本社工場・業務部・営業部は目標達成が3年連続で未達成ですので見直しを行いました。基準年を50期から52期の過去3年の平均値を基に見直しをして選定しています。

※本社工場の目標はこれ以上のCO<sub>2</sub>排出量を増やさないことを目標に努めていきます。

※倉橋工場・事務所の取組みは、52期中期計画を基に選定しています。

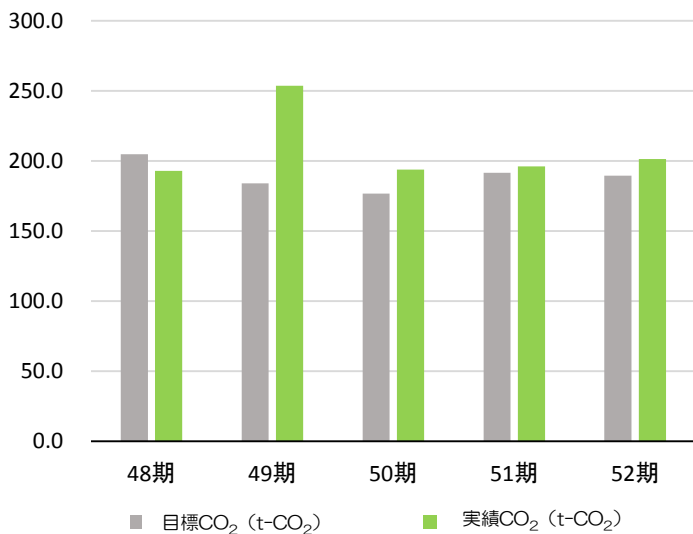
※50期以降の電力CO<sub>2</sub>削減目標値は、排出係数0.694kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用しています。(中国電力公表値)

※3年ごとに最新の電力排出係数の見直しをしていきます。

※目標に対する実績が未達成の場合、その実績を基に見直しを検討します。

## (1) 本社工場の取組み

## 回転炉床 A重油使用量



## 【取組み】

- 毎日の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。
- 通年通り、毎月の個人別目標達成表を掲示して焼却炉運転管理者の意識向上に努めました。
- 廃棄物を破碎する際に、燃焼効率を考え、カロリーが均一になるように選別し破碎することに努めました。

## 【実績・評価】

- 目標189.6 t-CO<sub>2</sub>に対して実績201.4 t-CO<sub>2</sub>と目標達成に至りませんでした。
- 設備的な運転トラブルが昨年より多く、効率の良い運転管理が出来ませんでした。
- 雨天時など廃棄物が燃えにくい日などの改善が乏しく、A重油使用量が増える結果になりました。

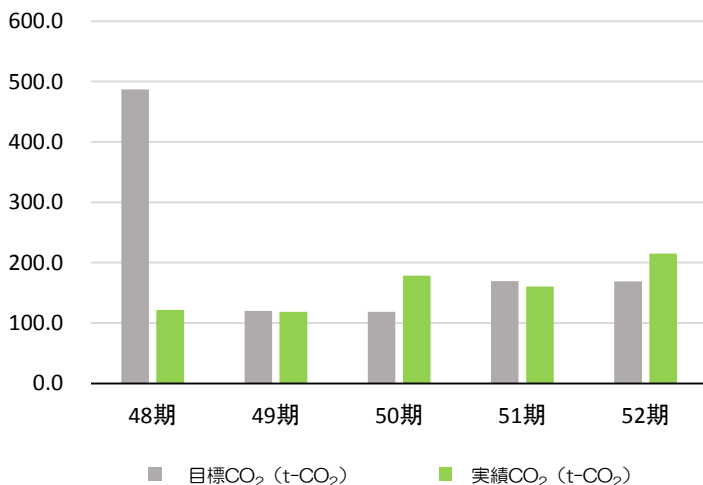
## 【今後】

- 廃棄物保管場の更なる改良を検討し、天候不順にもしっかりと対応出来るように努めます。



単位	目標	実績	CO <sub>2</sub> 削減率
t-CO <sub>2</sub>	189.6	201.4	6.2%増加
ℓ	69,973	74,330	

## ロータリーキルン A重油使用量



## 【取組み】

- 運転時の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。
- 汚泥の在庫量の管理を強化し、効率の良い運転管理に努めました。

## 【実績・評価】

- 目標169.1 t-CO<sub>2</sub>に対して、実績215.0 t-CO<sub>2</sub>と目標達成に至りませんでした。
- 搬入量増加による施設の稼働回数が増えたことで、昨年より54.3 t-CO<sub>2</sub>排出量が増加しました。

## 【今後】

- 施設の稼働回数を減らす方法の検討と稼働時のA重油使用量の削減の両方に努めます。



単位	目標	実績	CO <sub>2</sub> 削減率
t-CO <sub>2</sub>	169.1	215.0	27%増加
ℓ	62,408	79,335	

## 13 気候変動に具体的な対策を

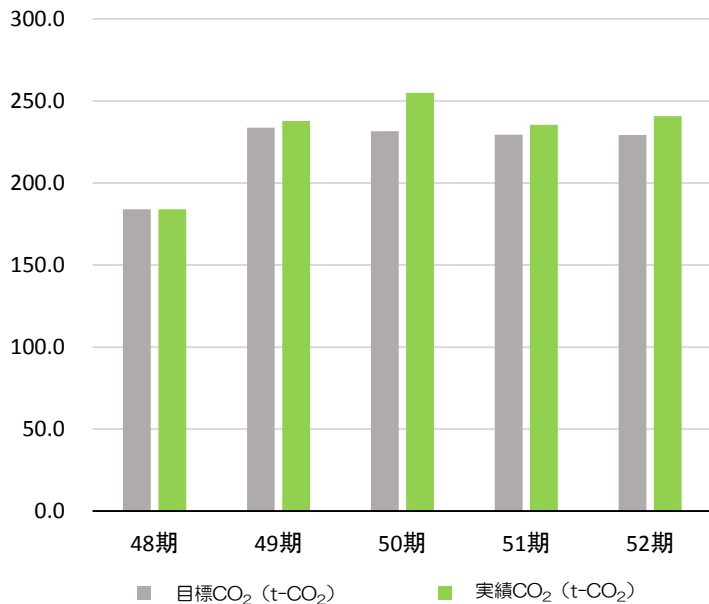
13 気候変動に具体的な対策を



## 【本社工場の取組み】

- 回転炉床式及びロータリーキルンの温度管理を徹底することで、A重油使用量を削減して温室効果ガス排出量抑制に努めています。

## 回転炉床 電力使用量



## 【取組み】

- 毎日の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。
- 電力の消費を抑えるため、設備更新時には省エネ機器を導入するように努めました。
- 施設内の照明でLED化出来る箇所をピックアップし、更新を行いました。

## 【実績・評価】

- 目標229.2 t-CO<sub>2</sub>に対して実績240.7 t-CO<sub>2</sub>と目標達成には、至りませんでした。
- 前期同様、設備更新時に省エネ機器の導入に努めましたが、更新箇所が少なく、目標を達成出来るほどの効果がみられませんでした。
- LED化出来る照明も更新しましたが、更新箇所が少なく、目標達成出来るほどの削減量には、届きませんでした。

## 【今後】

- 引き続き省エネ機器の導入と照明のLED化を順次実施し、目標達成を目指します。



単位	目標	実績	CO <sub>2</sub> 削減率
t-CO <sub>2</sub>	229.2	240.7	5%増加
kWh	330,259	346,890	

## 13 気候変動に具体的な対策を

13 気候変動に具体的な対策を



## 【本社工場の取組み】

- 回転炉床式の機器は使用時以外ブレーカーを落として待機電力にも注意を払い、電力使用量を削減して温室効果ガス排出量抑制に努めています。

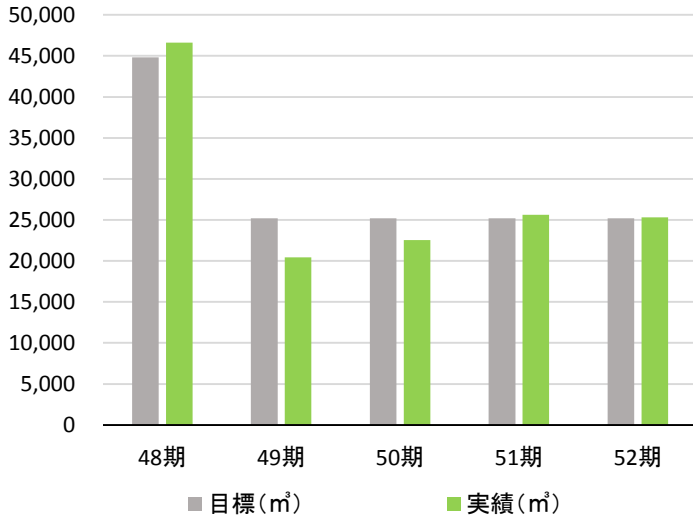


施設照明のLED化



省エネモーター使用減速機

## 回転炉床 用水使用量



【取組み】

● 毎日の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。

【実績・評価】

● 目標25,200m³に対して25,328m³と目標達成には至りませんでした。  
 ● 用水タンクの老朽化により少量の漏水が発生し用水の使用量が増加しました。

【今後】

● 場内全般の更なる節水への意識付けと用水タンクの更新を実施し目標達成を目指します。



単位	目標	実績	削減率
m³	25,200	25,328	0.5%増加

## 6 安全な水とトイレを世界中に



【本社工場の取組み】

● 本社工場では、焼却炉の洗浄等で使用される用水を排水処理施設で再処理して、焼却炉冷却や車両洗浄、場内の洗浄清掃に使用して節水に努めています。



洗浄清掃の様子



排水再処理設備

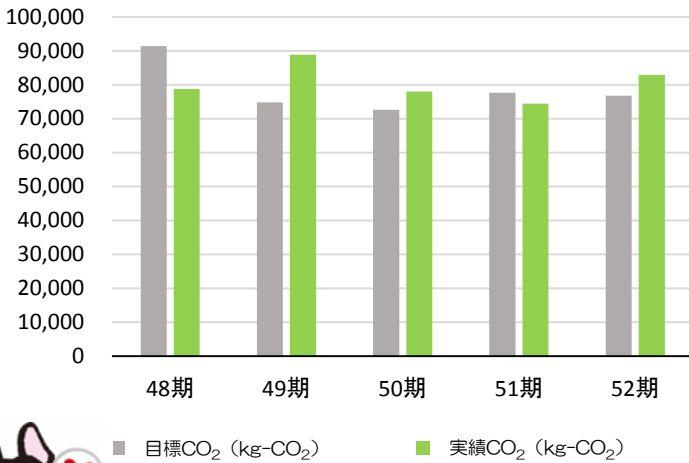
ここ数年、回転炉床A重油使用量が目標達成に至っていません。施設の老朽化によるトラブルも原因にあると思いますが、CO<sub>2</sub>削減の取組みがマンネリ化しているのも原因にあると思います。今一度、本社工場内で一致団結し、CO<sub>2</sub>削減に努めます。



本社工場 飯田課長

## (2) 倉橋工場の取組み

### 倉橋工場 軽油使用量



#### 【取組み】

- 冬場の発酵状況の改善を通して、トータルでの重機の稼働時間の削減に努めました。
- 現状の確認、検証を適宜行い、作業計画を随時修正することで極力無駄な作業が発生しないように努めました。

#### 【実績・評価】

- 76,800kg-CO<sub>2</sub>に対して、82,864kg-CO<sub>2</sub>と目標達成に至りませんでした。
- 冬場の発酵状況改善のため新たな作業体系を試みたものの、結果的に費用対効果が薄く、軽油使用量の増加に繋がりました。
- 遠方のお客様への肥料の配達が定期的に入ったことで、肥料運搬にかかる軽油使用量が1,000ℓ増加しました。

#### 【今後】

- 今期のように思い通りの結果が得られないこともあるかと思いますが、これからも個別の数字にとらわれ過ぎず、トータルでの改善に繋がる方法を探っていきたいと思います。

単位	目標	実績	CO <sub>2</sub> 削減率
kg-CO <sub>2</sub>	76,800	82,864	7.9%増加
ℓ	29,265	31,575	

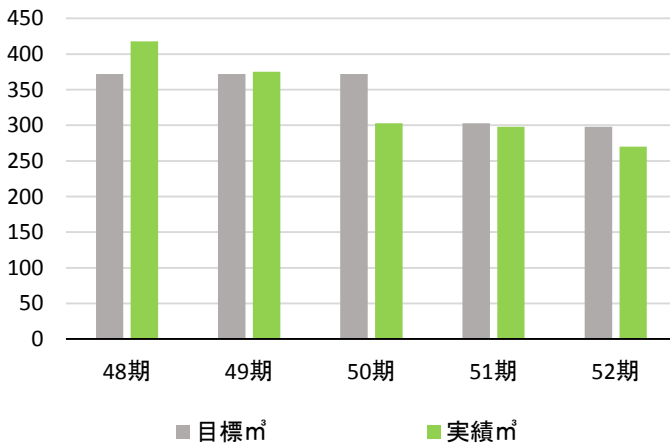
### 13 気候変動に具体的な対策を

#### 【倉橋工場の取組み】

- 倉橋工場では、作業工程の見直し等によりムダを取り除くことで電力使用量を削減し、温室効果ガス排出量抑制に努めています。



### 倉橋工場 水使用量



単位	目標	実績	削減率
m <sup>3</sup>	298	269	9.7%削減

#### 【取組み】

- 車両、重機の美化と節水が両立できるよう拭き掃除メインの洗車方法に取組みました。
- 洗車をされる搬入業者様へ節水のご協力をお願いかけました。
- 自社の3トン車の使い方および管理方法を工夫し、洗車回数の削減に努めました。

#### 【実績・評価】

- 目標298m<sup>3</sup>に対して、269m<sup>3</sup>と目標を達成できました。
- 工場内での3トン車による運搬作業を削減したことにより、洗車回数が減り、結果的に水使用量が少なくなりました。

#### 【今後】

- 削減量の限界に近いところまでできていると思いますが、引き続き社内ではこれまでの取組みを継続し、お客さまに協力頂き節水をしていきます。

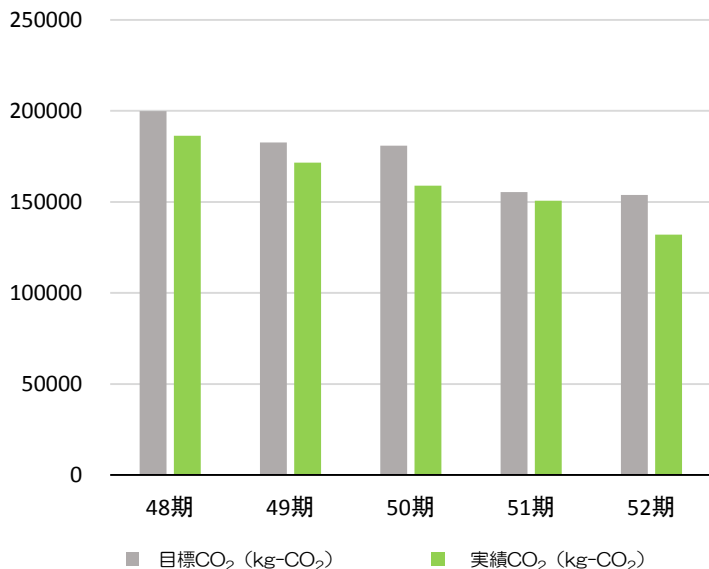
### 6 安全な水とトイレを世界中に

#### 【倉橋工場の取組み】

- 倉橋工場では、重機や車両洗車に使用する水使用量の節水に努めています。



## 倉橋工場 電力使用量



## 【取組み】

●昨年度試験的に導入した送風機およびインバータ制御装置により期待通りの節電効果が得られたため、新たに6機分導入しました。

## 【実績・評価】

●153,800kg-CO<sub>2</sub>に対して132,064kg-CO<sub>2</sub>と目標を達成できました。  
●送風機をインバータ制御することで送風量の最適化が可能になり、無駄な電力使用をカットすることができたため、大幅な削減を達成することができました。

## 【今後】

●新たに導入した通気システムの運用を更に検証し、他の選択肢も排除せず、残る4槽分の設備の改修を進めていきます。



単位	目標	実績	CO <sub>2</sub> 削減率
kg-CO <sub>2</sub>	153,800	132,064	14%削減
kWh	221,614	190,294	

## 13 気候変動に具体的な対策を

## 【倉橋工場の取組み】

- 倉橋工場では、設備を更新し電力使用量削減と業務改善を両立して温室効果ガス排出量抑制に努めています。

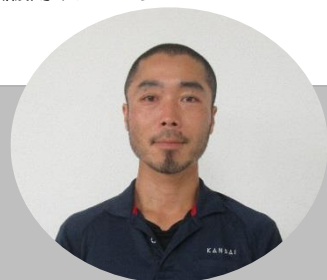


小型送風機設置



小型送風機用インバーター

52期は、電力使用量が大幅に削減できた一方で、軽油使用量が大きく増加してしまいました。電力使用量はまだまだ削減の余地が残っていますが、軽油使用量の方は、汚泥の処理方法と肥料の搬出方法をもっと工夫していかないと削減は難しい状況になってきています。今後も事業の継続と環境負荷の軽減が両立できる方法を模索していきます。

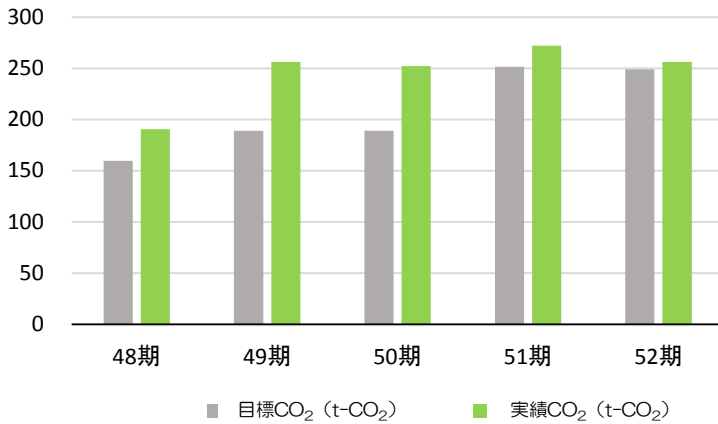


倉橋工場 石津工場長



### (3) 業務部の取組み

#### 業務車両 燃料使用量



車両メンテの様子

#### 【取組み】

- 毎月の軽油、ガソリンの使用量を集計しました。
- 毎月の走行距離、特殊車両はアワメーターを集計し、適正期間にグリスアップ、オイル交換を実施しました。
- 月1回の業務会議で使用量、燃費の情報を共有し、削減のために何が必要か全員で検討しました。

#### 【実績・評価】

- 目標249 t-CO<sub>2</sub>に対し、256 t-CO<sub>2</sub>と7 t-CO<sub>2</sub>増加し、目標達成には至りませんでした。昨年の実績272.0 t-CO<sub>2</sub>と比べると、16 t-CO<sub>2</sub>の削減ができました。
- 夏場の熱中症対策として、エアコンの使用を推進したため、燃費は昨年とほぼ同じとなりました。

#### 【今後】

- 車両の管理体制を強化し、使用量の削減、維持管理、修繕の効率化に努めます。
- 52期同様に、オイル交換、グリスアップ等のメンテナンスを充実させ、自分たちで出来ることを増やしていきます。
- 月1回の会議での情報共有を行い、引き続き削減のために何が必要かをみんなで考え、実行していきます。



単位	目標	実績	削減率
t-CO <sub>2</sub>	249	256	2.8%増加



業務車両 燃費	車種	単位	目標	実績	削減率
	10 t 車両	km/ℓ	2.9	2.8	3.5%低下
	4 t 車両	km/ℓ	5.5	5.0	9.1%低下
	2 t 車両	km/ℓ	6.7	6.5	3.0%低下
	ガソリン 車両	km/ℓ	15.8	13.6	14.0%低下

#### 13 気候変動に具体的な対策を

#### 【業務部の取組み】

- 業務部では、アイドリングストップはもちろんのこと定期メンテナンスによる燃費向上を目指し燃料使用量を削減して温室効果ガス排出量抑制に努めています。



## 業務部 建設工事

## 【取組み】

- 排水処理槽の腐食箇所の防食工事を行いました。

## 【実績・評価】

- 工事件数は8件で、51期より4件減りました。
- 売上高は117,214千円で、51期より46,373千円増加しました。
- 汚泥他83.12 tをリサイクルし、廃棄物量は26.67 tになりました。
- 現場事務所や工事時に使用した軽油等によるCO<sub>2</sub>排出量は7,479kg-CO<sub>2</sub>でした。
- 事務所を留守にする時に必ず電気を消すなど、当たり前の取組みをして日々環境負荷軽減に努めました。

## 【今後】

- 建設工事で発生する廃棄物をできる限りリサイクルするとともに、エネルギー使用量を極力抑え、環境負荷の軽減に努めていきます。

活動規模	単位	52期	リサイクル量 (t)	廃棄物量 (t)	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )
工事の件数	件	8	83.12	26.67	7,479
売上高	千円	117,214			



排水処理施設清掃作業の様子



排水処理施設洗浄作業の様子



防食工事超高压洗浄の様子



防食作業の様子

52期は、車両管理者の交代時の引継ぎ不足があり、修繕、維持管理ともに後手になりました。

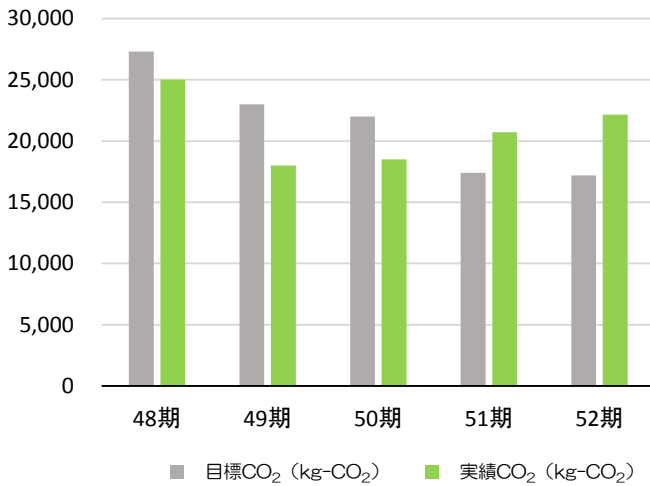
53期は管理体制を強化して、修繕の効率化を図るとともに、燃料使用量の削減に努めてまいります。



業務部 水田課長

# (4) 営業部の取組み

## 営業部 ガソリン使用量



### 【取組み】

- 燃費把握のため、毎月走行距離を集計しました。
- 週間行動計画を作成し、効率的な営業活動を心掛けました。

### 【実績・評価】

- 目標17,200kg-CO<sub>2</sub>に対して、22,153kg-CO<sub>2</sub>となり29%増加しました。
- 平均燃費は52期と同じでしたが、営業活動範囲が広域に渡ったため年間走行距離が、8,630kmと多くなったことで燃料使用量が増加しました。

### 【今後】

- 週間行動計画による更なる営業活動の効率化と、エコ運転の徹底でCO<sub>2</sub>排出量を削減していきます。



単位	目標	実績	CO <sub>2</sub> 削減率
kg-CO <sub>2</sub>	17,200	22,153	29%増加
ℓ	7,408	9,542	



PHV自動車

車種	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
アーク	105833	106070	112720	116007	118701	120610	122261	125430	128500	131342	134250	136507	140301	136658
広島502	3597	3509	3398	3294	3193	3092	2991	2890	2789	2688	2587	2486	2385	2284
広島480	1524	1423	1322	1221	1120	1019	918	817	716	615	514	413	312	211
総距離 (k m)	109854	109202	109018	108792	108566	108340	108114	107888	107662	107436	107210	106984	106758	106532
燃費 (ℓ/k m)	21.764814	22.012414	20.907567	22.481373	23.122263	27.412551	27.760624	22.412551	22.412551	20.777003	20.477411	20.355280	20.066281	24.780151

個人データ入力シート

13 気候変動に具体的な対策を

### 【営業部の取組み】

- 営業部では、アイドリングストップはもちろん、定期的に低燃費車両に入替えをし、ガソリン使用量を削減して温室効果ガス排出量抑制に努めています。

## 13 気候変動に具体的な対策を

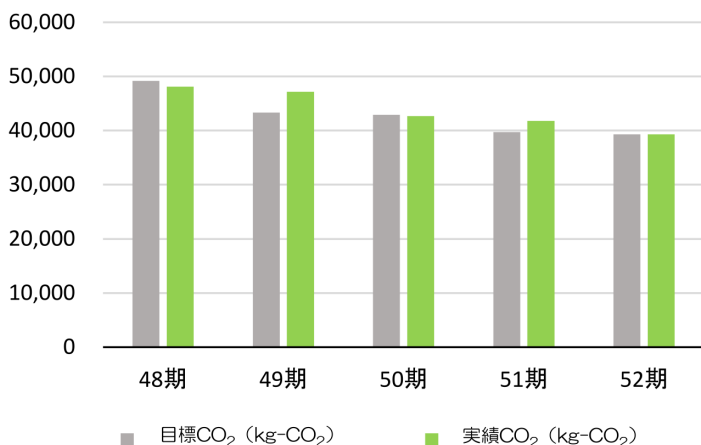
52期より、週はじめに各自週間行動計画を作成し効率的な営業活動を心がけるよう取組んでいます。今期はより具体的な行動計画を立て、営業活動の成果を上げるべく努力するとともに日々の行動の無駄を省くよう心掛けました。また朝礼で安全運転、エコ運転の意識付けを図りました。53期もこれらを継続し、より成果が上がるよう努めていきます。



営業部 橋本次長

## (5) 総務部の取組み

### 事務所 電力使用量



#### 【取組み】

●事務所内照明のこまめな消灯やパソコン不使用時の電源OFF等の省エネ活動に努めました。

#### 【実績・評価】

●目標39,300kg-CO<sub>2</sub>に対して、実績39,321kg-CO<sub>2</sub>と目標達成には至りませんでした。

●昨年のような猛暑が少なく、また、暖冬だったことでエアコン使用頻度が少なく前期よりは使用量を抑えられましたが、目標達成にはあと一歩及びませんでした。

#### 【今後】

●こまめな節電やエアコンの定期的なフィルター掃除を引き続き継続して行い、電力使用量削減に取り組んでいきたいと思ひます。



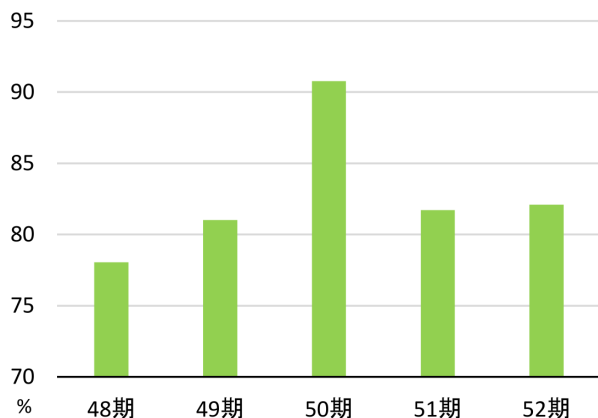
単位	目標	実績	CO <sub>2</sub> 削減率
kg-CO <sub>2</sub>	39,300	39,321	0.1%増加
kWh	56,628	56,659	

### 13 気候変動に具体的な対策を

#### 【総務部の取組み】

●総務部では、事務所内のこまめな節電と快適な仕事環境を両立し、温室効果ガス排出量抑制にも努めています。

### グリーン購入率(%)



#### 【取組み】

●環境対応商品を優先して購入してもらうために、啓発活動を行い社員への意識付けを行いました。

#### 【実績・評価】

●51期の81.7%に対して、52期は82.09%と購入率は微増しました。

●コピー用紙等は100%再生品を購入しています。

●環境配慮商品が無い物以外はほぼ100%グリーン購入しています。

#### 【今後】

●環境対応商品を購入しているか、チェックする取組みを継続していきます。

### 12 つくる責任つかう責任

#### 【総務部の取組み】

●総務部では、物品購入を管理し、環境対応商品か否かを確認して購入しています。

52期の電力使用量は目標に対して増加という結果となりました。目標は達成できませんでしたが、過去のデータを見比べると、良い推移で減少してきていると思ひます。

事務所電力は気温に左右されやすいのですが、こまめな節電を継続し目標を達成できるよう、取り組んでいきたいと思ひます。



総務部 山田主任

## (6) 環境計量室の取組み

## 環境分析

場 所	項目	単位	結果	規制値	測定日
本社工場 (回転炉床式焼却炉)	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.013	0.25	2018/11/26
	塩化水素	mg/m <sup>3</sup>	定量下限値未満	700	2018/11/26
	硫酸酸化物	m <sup>3</sup> /h	定量下限値未満	6.05	2018/11/26
	窒素酸化物	ppm	46	-	2018/11/26
	全水濃度	μg/m <sup>3</sup>	2.1	50	2018/11/26
	ダイオキシン	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	0.22	10	2018/11/26
	臭気	臭気指数	26	31	2019/5/22
本社工場 (ロータリーキルン炉)	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.015	0.25	2018/10/18
	塩化水素	mg/m <sup>3</sup>	7	700	2018/10/18
	硫酸酸化物	m <sup>3</sup> /h	0.53	5.3	2018/10/18
	窒素酸化物	ppm	220	-	2018/10/18
	全水濃度	μg/m <sup>3</sup>	1.2	50	2018/10/18
	ダイオキシン	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	0.0017	10	2018/10/18
	臭気	臭気指数	34	37	2019/5/22
本社工場 (環境放流水)	BOD	mg/l	4.5		2019/4/5
	COD	mg/l	8.3		2019/4/5
	SS	mg/l	24		2019/4/5

- \* 窒素酸化物の規制値は施設が小規模なため規制はかかっておりません。  
 \* 環境放流水は、外部への放流をしていないため規制はかかっておりません。  
 (測定機関)

- 本社工場 (回転炉床式焼却炉) : (株)エヌ・イーサポート
- 本社工場 (ロータリーキルン炉) : (株)エヌ・イーサポート
- 本社 (環境放流水) : (株)カンサイ

作業環境測定	
場 所	管理区分
本社工場 (回転炉床式焼却炉)	第1管理区分
本社工場 (ロータリーキルン炉)	第1管理区分

(測定機関)

- MH1ソリューションテクノロジーズ

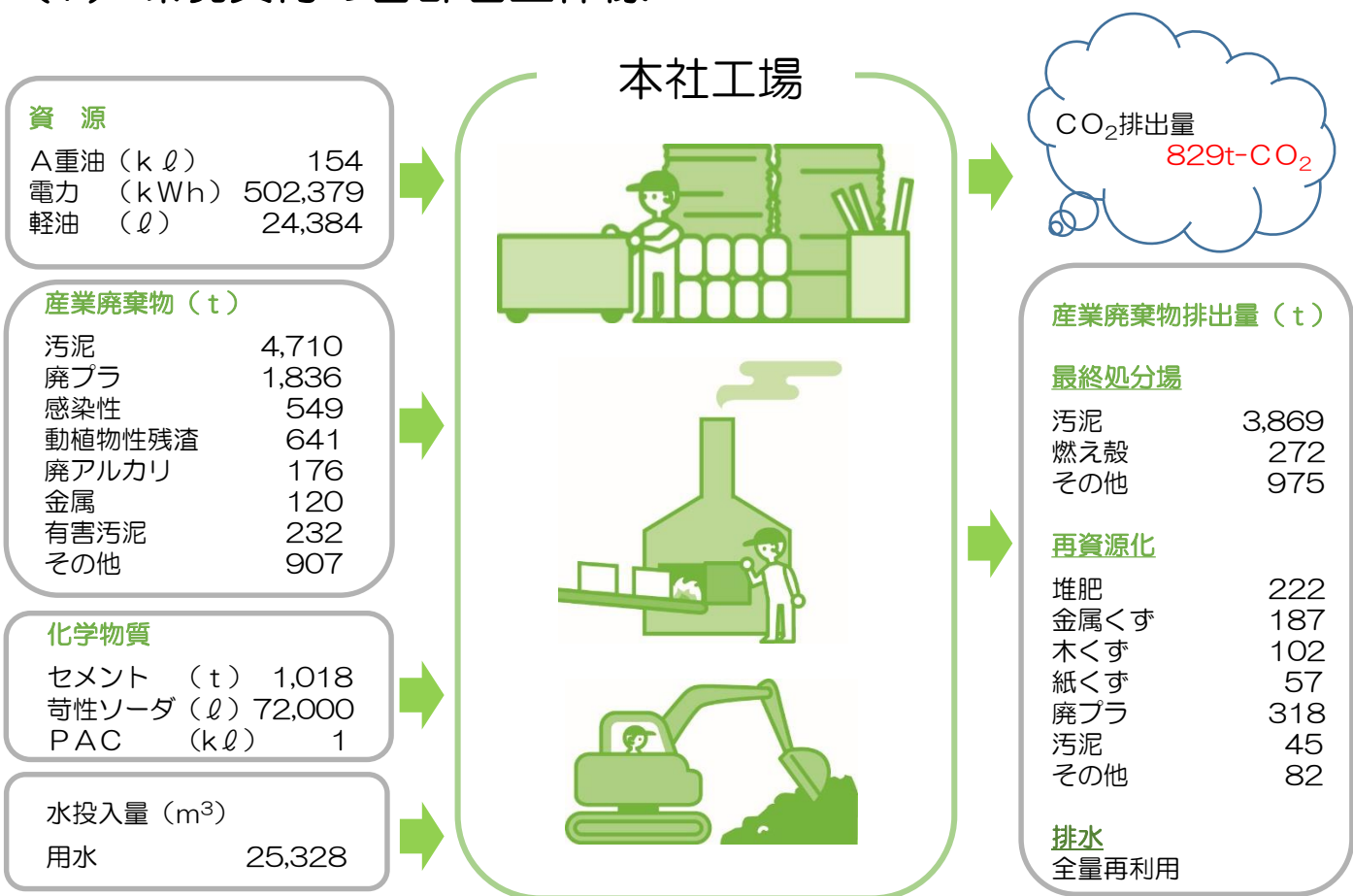
計量証明書



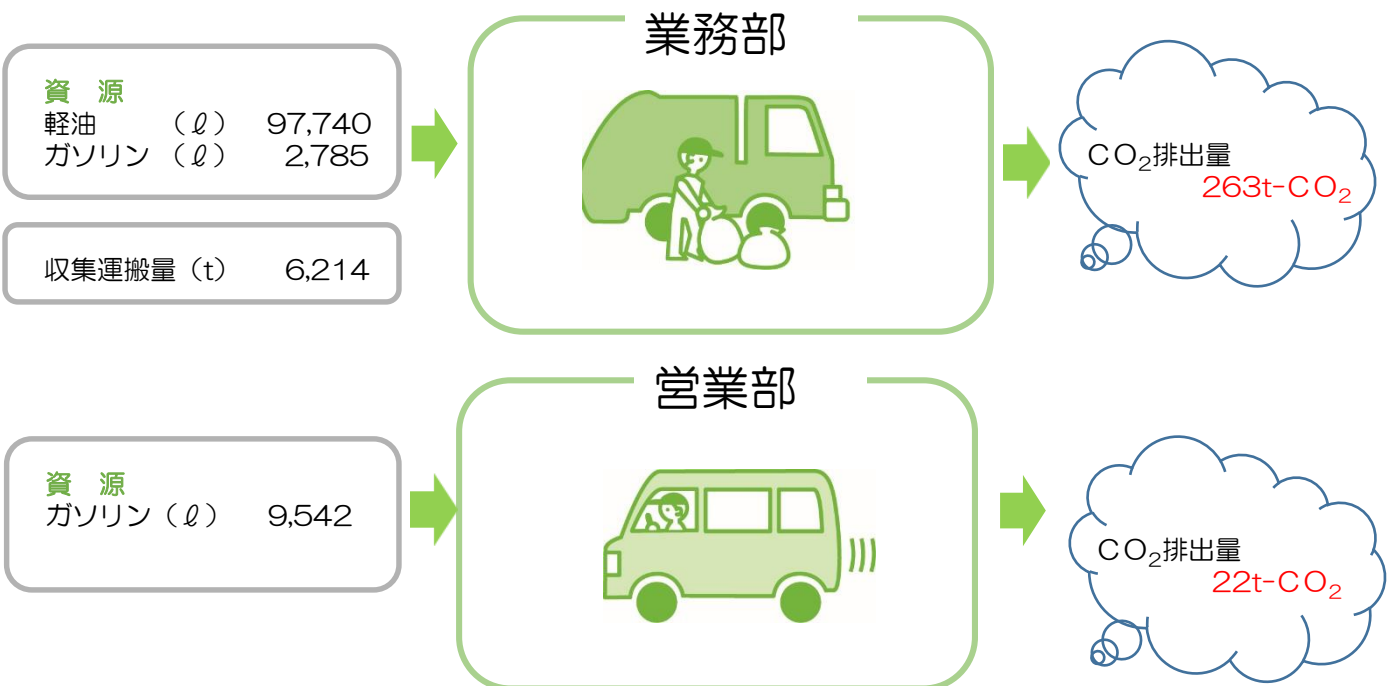
環境計量室 道方室長

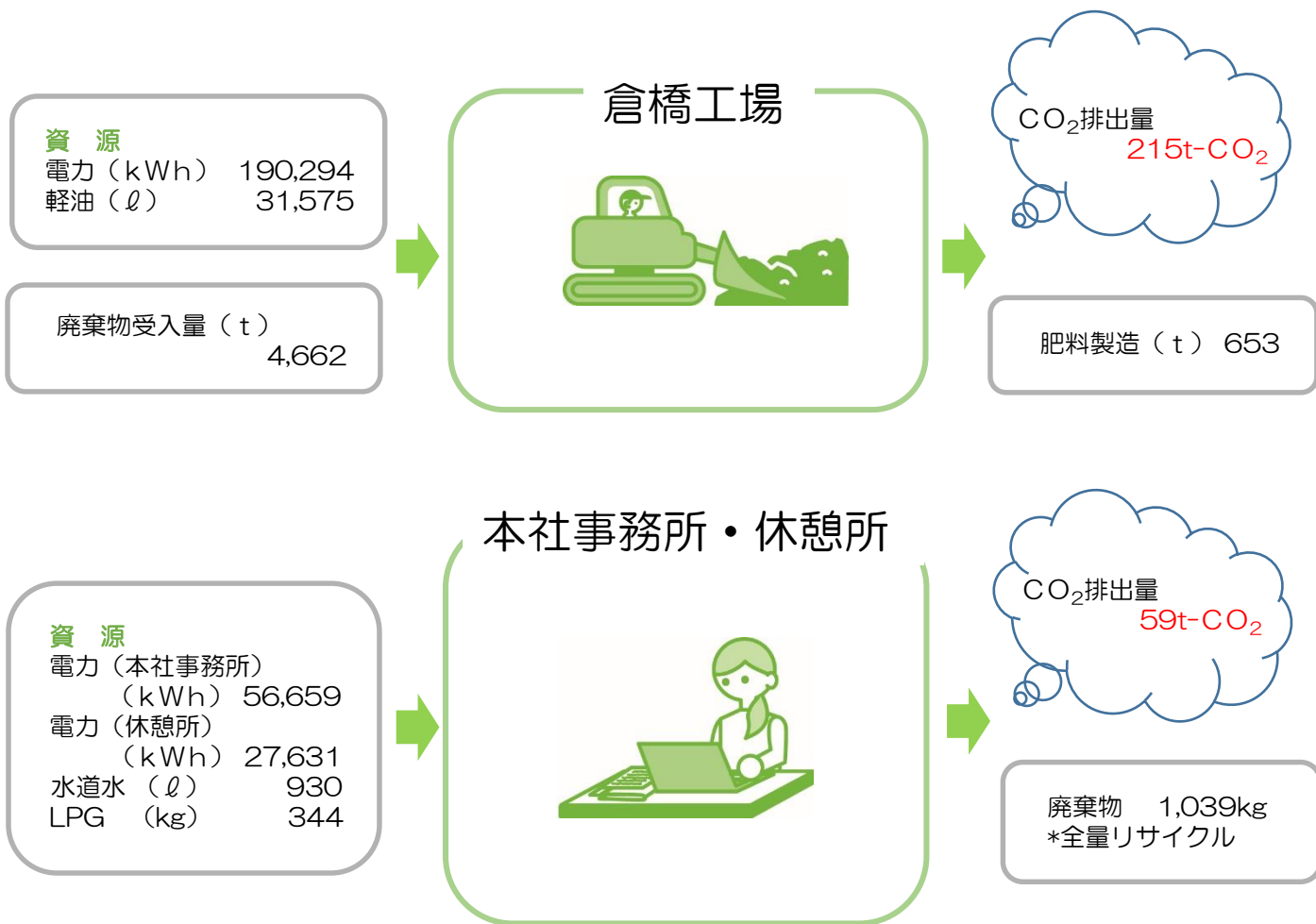
上記内容で環境測定を実施しています。回転炉床式焼却炉及びロータリーキルン炉の大气汚染規制物質及びダイオキシン類の測定結果は基準値以下でした。また、本社工場の作業環境測定においても第一管理区分と良好な結果を得られました。今後も引き続き適正な施設管理を心がけていきたいと思ひます。

## (7) 環境負荷の各部署全体像

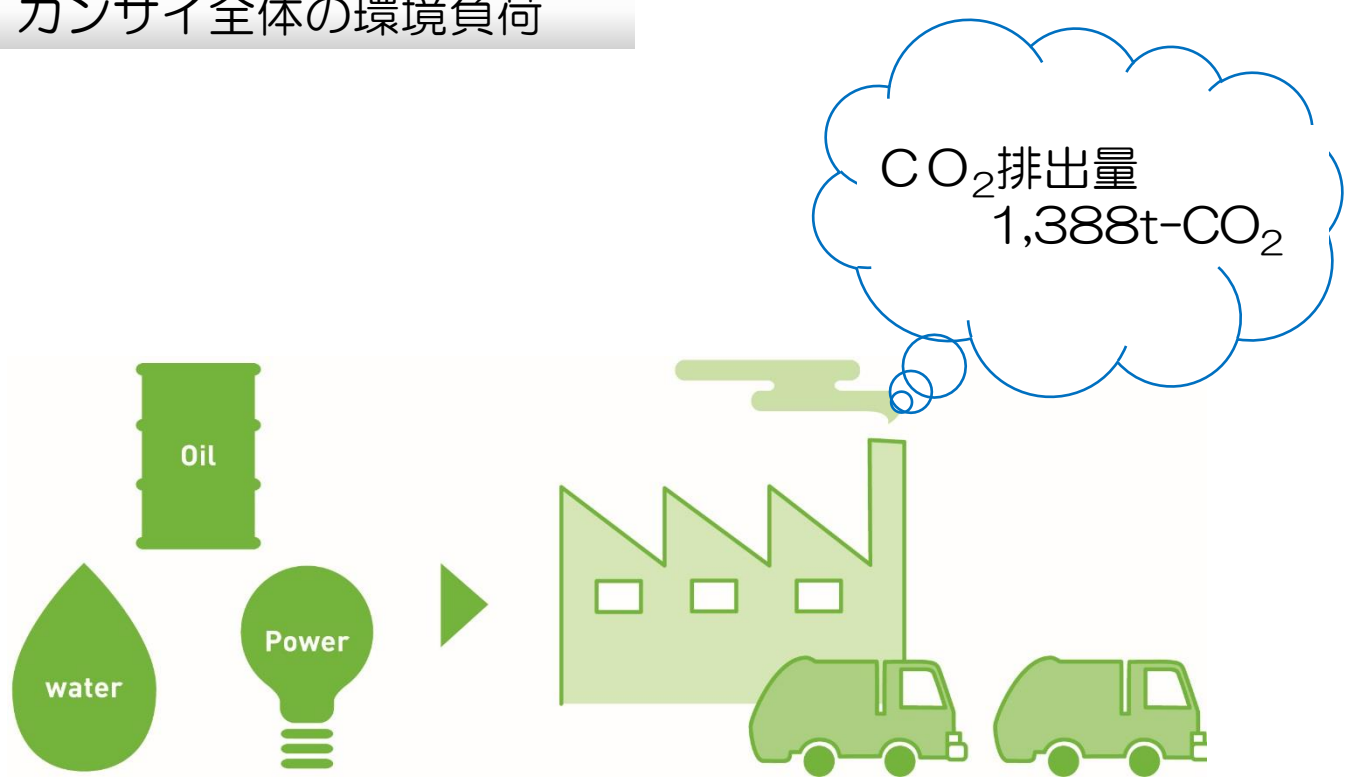


\*本社工場は、リサイクルが困難な廃棄物を積極的に受入れています。従ってリサイクル率が11.2%と低いのですが、今後もリサイクル困難廃棄物を可能な限り分別してリサイクル率向上に努めます。





### カンサイ全体の環境負荷



## (1) 本社工場の取組み

### 【取組み】

- 施設の改善として、汚泥受入施設の臭気対策工事を実施しました。
- 在庫管理の強化として、前期同様に搬入・処理スケジュールを作成し実行しました。あわせて毎月1日に定点観測をしました。
- 各環境測定として、52期もダイオキシン測定をはじめ各環境測定を実施しました。
- 一年間無事故無災害として、指差し確認の啓発と熱中症対策をしました。

### 【実績・評価】

- 施設の改善では、汚泥受入施設から発生する悪臭防止対策として、施設を囲い、発生する悪臭をファンで吸引後、チップを敷き詰めた装置に送り悪臭を吸着させることで悪臭発生を軽減させました。
- 在庫管理強化では、前期同様に搬入、処理スケジュールを作成することで、廃棄物が滞ることがなくなりました。また、毎月定点観測することで客観的に在庫状況が把握でき、先入れ先出しが容易にできるようになりました。
- 各環境測定を実施し測定結果は基準値以下でした。詳しいデータは20ページに掲載しています。
- 一年間無事故無災害では、朝礼での危険予知活動の継続と指差し確認の徹底、夏場の熱中症対策として焼却炉操作室内に小型冷蔵庫を設置し、常時経口保水液とアイスノンを設置して熱中症対策を講じました。

### 【今後】

- 施設の改善として、老朽の激しい用水タンクの更新と破碎机の更新をスケジュールを立てて取組んでいきます。
- 在庫管理として、定点観測資料を活用して廃棄物の定位置を決めて定量管理をし、効率よく仕事ができるように努めていきます。
- 一年間無事故無災害として、今までの取組みを継続することと、廃棄物における危険性を教育して無事故無災害に取り組んでいきます。



熱中症対策用冷蔵庫



悪臭対策装置



本社工場定点観測

52期は、労災事故防止のため焼却炉操作室内に小型冷蔵庫を設置し、経口保水液を常備できるようになったことで、体調を整えやすくなりました。また、毎日の終礼時のミーティングで、ヒヤリハットの発生報告が多くあり、問題点を全員で共有できました。

53期もヒヤリハットを共有して、作業中お互いに声を掛け合うことで、事故防止を継続していきたいと思えます。



環境事業部 藤井



## (2) 倉橋工場の取組み

### 【取組み】

●作業環境の改善として、機器の誤作動防止策を講じました。

### 【実績・評価】

●設備清掃時の巻き込まれ等による労働災害防止策として、制御盤に札を取り付けてヒューマンエラーを防止しました。

### 【今後】

●当たり前になっている作業に潜む危険を検証してできる限り危険因子を排除していきます。



ヒューマンエラー防止札

## (3) 業務部の取組み

### 【取組み】

●一年間無事故・無災害として、毎日の朝礼で危険予知活動を継続して行いました。また、毎月一回業務会議を開催しました。

●車両管理として、車内外の美化はもちろん、事故対応マニュアルを設置しました。

●飲酒運転禁止として、引き続き毎朝のアルコールチェックを義務付けました。

●熱中症対策として、引き続き空調服の使用推進と塩分摂取の飴等を常備しました。

### 【実績・評価】

●無事故・無災害では、接触事故5件、廃棄物漏洩事故2件が起きました。その状況等を業務会議で皆で共有して今後の事故防止に努めました。

●アルコールチェックでは、52期も検出者0人を継続しています。

### 【今後】

●一年間無事故・無災害として、53期では達成できるように業務会議や朝礼で事故防止の啓発を促し、事故防止に努めていきます。

●車両管理として、修理と整備を円滑に進めるために、不具合を吸い上げる仕組みづくりをします。また、車両のグリスアップ・オイル交換の管理に注力します。



上：業務部会議 下：排水処理設備清掃の様子



## 6 安全な水とトイレを世界中に



### 【業務部の取組み】

●業務部では、下水処理場や上水場の処理設備の清掃・補修により安全な水とトイレの維持に貢献しています。

52期は、多くの事故を起こし目標を達成することができませんでした。新入社員も増えましたので、改めて業務内容・手順を見直して危険予知活動を周知徹底して事故防止に努めます。また、53期は各作業マニュアル整備を行い、繁忙期の余裕がなくなる時期でも業務のクオリティーを保てるよう心掛けていきます。



業務部 藤元係長

## (4) 環境計量室の取組み

### 【取組み】

- 本社屋周辺の土壌及び地下水が汚染されていないか調査するため、年3回、観測井戸からサンプリングをし、分析を行いました。
- 本社屋合併浄化槽水質調査(年1回)と、浄化槽機能定期検査(年1回)を実施しました。
- 本社工場内の排水処理は自主基準を設け、有害項目も含めて38項目の(年1回)分析を行いました。
- 本社工場から最終処分場へ搬出される汚泥や燃え殻に、環境を汚染する可能性がある有害物質がないか分析を実施しました。
- 太陽光発電を利用した省エネルギーで稼働可能な浄化槽システムのデータ収集を定期的に(月2回)行いました。
- 分析技術向上のため、内部精度管理と環境省主催の外部精度管理に参加しました。
- 分析機器の操作マニュアルを作成し、適宜内容を見直しより分かりやすいものに更新しました。
- 分析器具や機械の配置を見直し、転倒や試薬漏洩といった事故防止に努めました。

### 【実績・評価】

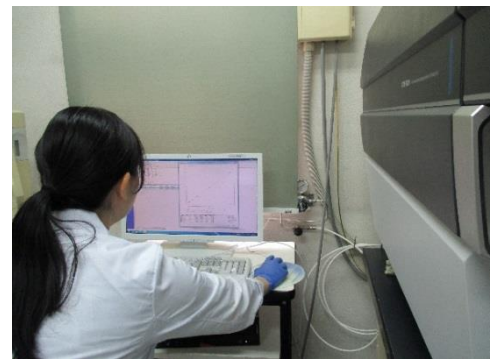
- 工場、本社屋共に有害物質の検出はありませんでした。
- 部署内の教育と内部、外部精度管理を通して社員全体のレベルアップを行いました。
- 環境計量室内の薬品管理のため、劇毒物の在庫管理を毎月行いました。
- 新入社員の教育に操作マニュアルを活用することでスムーズな業務の引継ぎができました。
- 器具や機械の配置を変えた結果、作業スペースが広がり安全で円滑に業務を行いやすくなりました。

### 【今後】

- 社員一人ひとりが高い精度の分析を習得することを目標に、技術の向上に取り組んでいきます。
- 忙しいときこそ社員のコミュニケーションを意識し、作業を分担して効率よく作業を進めていきます。

コード	工程名	作業名	作成者
1	1AA-6800	立ち上げ	立川
2	1	ガス検量確認	
3	2	コンプレッサ立ち上げ	
4	3	換気扇確認	
5	4	本体電源ON	

操作マニュアル



分析業務



## 15 陸の豊かさも守ろう

### 【分析室の取組み】

- 分析室では、人と動植物の共生に必要な環境の保全を分析業務を通して、持続可能な自然環境の一翼を担っています。

環境計量室では、本社工場に搬出入される廃棄物に有害物質が含まれていないか、危険物が混入していないかなどの検査や、本社の排水分析、倉橋工場で製造した肥料の品質管理分析も行っています。また、お客様のご依頼に応じて様々な分析を行っています。分析技術を通して会社に、そして社会に貢献できるように社員一同研鑽に励んでいます。



環境計量室 道方室長

## (1) 営業部の取組み

### 【取組み】

- 社員とのつながりとして、社内研修（金刀比羅宮参拝）を行いました。
- 社員及び家族とのつながりとして、社内報「春夏秋冬」を年2回発行し各家庭及び関係者に郵送しました。
- ステークホルダーとのつながりの拡充として、ひろしま環境フォーラム（事務局：広島県環境県民局環境政策課）主催のイベントでクリーン&サンフレッチェに参加しました。
- 毎月1回、会社周辺道路の清掃活動を実施しました。

### 【実績・評価】

- 金刀比羅宮参拝社内研修では、他部署から多くの方に参加してもらい、普段の仕事ではできないようなコミュニケーションを社員同士深めることができました。
- 社内報では、継続的に発行し内容が充実するよう何度も企画会議を行い、社員全員の情報を掲載するため社内アンケートの実施を行い、社員や家族の方に楽しく読んでもらえるよう工夫しました。
- 社外コミュニケーションでは、ひろしま地球環境フォーラムの会員と一般の方合計約230名と一緒にエディオンスタジアム周辺を清掃後、サッカー観戦を行いました。清掃活動、サンフレッチェ応援を通じて社内はもちろん社外の人と楽しく交流ができました。
- 会社周辺道路の清掃活動では、毎月1回の活動で年間可燃ごみ約60kg・空き缶約10kgを回収しました。大型商業施設（ジ・アウトレット広島）がオープンして1年が経過し通行人や車の往来が増えているためか、毎回ゴミの量が増えています。

### 【今後】

- 社員同士コミュニケーションが深められるように、社内研修を企画、実施していきます。
- 社員及び家族とのつながりとして、社内報発行は継続していき読者アンケート等行いながら、社員の声を反映させて作成しより充実させていきます。
- ステークホルダーとのつながりとして、地域イベントに積極的に参加し、会社周辺清掃活動についても状況をみながら活動範囲を広げて地域の環境美化に貢献していきます。



清掃活動の様子



永年勤続表彰  
平成元年 こんな事をしていました  
キャッシュレス時代

カンサイ社内報

## 11住み続けられるまちづくりを

### 【営業部の取組み】

- 営業部は、地域貢献の一環として11年前から継続的に清掃活動に参加し住みやすいまちづくりに貢献しています。

金刀比羅宮参拝社内研修については、自由参加ではありましたが、他部署から多くの方に参加してもらいました。社外イベントは通常の業務では築けないようなコミュニケーションもあると思いますので、参加されたことがない方は是非参加していただきたいと思います。

会社周辺清掃活動については、清掃時に取引先の方に出会ったり、通行される方と挨拶を交わしていく中で清掃活動を通じてコミュニケーションが深められると感じます。部署内はもちろん、社外の方にも環境意識を高めてもらうよう、今後も取り組んでいきます。



営業部 福原係長

## (2) 総務部の取り組み

### 【取り組み】

- 社員のつながりとして、49期から始めた「永年勤続表彰」を年1回行い、47期から継続している「誕生日にあたる社員のお祝い」をして誕生日当日には、全社員に一齐メール配信と当該社員にコメントをもらいそれらを掲示しました。
- 家族とのつながりとして、52期も社員の家族を招いての「家族会」を企画しました。
- 積極的な情報公開として、ホームページ内の社員ブログを定期的に更新しました。
- 知識の向上として、接遇の向上と実務に関する知識を深めるために、個々において各研修や説明会に参加しました。

### 【実績・評価】

- 全体朝礼の場では、「永年勤続表彰」を行い、7名のお祝いをしました。永く仕事に携わってきた受賞者のコメントをもらうことで他の社員と気持ちを共有したり、会社の歴史を感じることができ、社員の働く意欲・やりがいにつながる取組みになりました。また「誕生日のお祝い」で社員同士がお祝いの言葉を掛け合うなど、明るい雰囲気作りができました。
- 「家族会」では、社員の家族を招いてのCarp観戦を企画していましたが、会場の予約が取れなかったため、社員全体教育にあわせて社内バーベキュー大会を行いました。
- 情報公開では、ホームページ内の社員ブログ内容を仕事に関する記事や研修レポートだけではなく、日々の出来事などプライベートなことも幅広く掲載し、ホームページを見てくださった方がよりカンサイを身近に感じてもらえる手段の一つとして社員ブログを充実させました。
- 知識の向上では、新入社員が2名入社したこともあり、お客様への対応の再確認と見直しをしました。また、法律事務所が主催する「労働時間を巡る諸問題」「ハラスメント対策」等の勉強会に参加し、新入社員の2名は電話対応に関する講座に参加し、スキルアップに繋がりました。

### 【今後】

- 社員とのつながりとして、「誕生日のお祝い」「永年勤続表彰」「家族会」は53期も継続して行い、社員全体教育でハラスメントについて学んだことを活かしながら、アットホームな職場の雰囲気作りに努め、社員・家族とのつながりを大切にすることにより、やりがいのある、働きやすく明るい職場づくりに貢献していきます。



## 8 働きがいも経済成長も

### 【総務部の取り組み】

- 総務部は、誕生日のお祝いや家族会などイベントを企画し、社員間のコミュニケーション向上を図り働きやすい職場づくりに努めています。

53期も「誕生日のお祝い」「永年勤続表彰」「家族会」等、内部コミュニケーションの充実に向けた取組みを継続し、外部コミュニケーションの充実につなげていきたいと思っております。この地道な取組みを続けることが、社員同士の信頼関係を育て、働く意欲・やりがいに繋がると考えています。



総務部 金子主任

## (3) 組織全体の取組み

### 1) 住民見学会

#### 【取組み】

●情報公開のひとつとして、排出業者の方はもとより、地域住民の方々に本社工場の施設見学を実施しました。

#### 【実績・評価】

●12年間継続して、地域住民の方々と広島市環境局の方に本社工場を見学いただき意見交換をしています。今期は、主に悪臭防止装置についての説明をして、ご理解をいただきました。

アンケートの回答では、

「今後も良好な環境維持に協力をお願いします」  
「地元採用にも協力していただけたら」  
「地元の行事や清掃活動に参加してもらえたら」  
「貴社の発展が環境保全に繋がると思います」  
などのご意見をいただきました。

#### 【今後】

●今後も排出事業者や地域住民の方々への、工場見学を積極的に受け入れ、開かれた会社にしていきます。



本社工場見学会の様子

### 2) 環境の日ひろしま大会

●毎年6月に広島市中区の広島県庁前広場で開催されている「環境の日」ひろしま大会では、6月の環境月間行事の一環として、環境活動の展示やエコ体験など環境について楽しく学べる様々なイベントが行われています。

●資源循環協会の一員として毎年倉橋工場で生産した肥料のサンプルを配布しています。

●肥料を買いに来られるお客様の中には、「環境の日でもらった肥料が良かったから買いたい」という方もおられます。

●このようなイベントに積極的に参加して、コンポスト化や汚泥肥料の認知度を上げて、利用者が増えることで環境意識の高まりに期待して、これからも活動を続けていきます。



環境の日ひろしま大会

### 3) カンサイ花見

●日頃の労をねぎらうことと、社内の親睦を図るため恒例の花見を開催しました。

●快晴、満開だった昨年とは違い、5~7分咲きで時折小雨がぱらつく肌寒いあいにくの天気でしたが、昨年より大幅に参加者が増えました。今期で定年退職されるベテラン社員から、社員のこどもも参加して、賑やかな会となりました。



お花見の様子

## 1) 全体教育

## 【セクハラ・パワハラ研修】

●顧問弁護士による、セクハラ・パワハラの研修を全社員が受講しました。

## 【研修内容】

●顧問弁護士による事前アンケートで現状を把握し、ハラスメントが起きる背景とハラスメントになる言動等の講義があり、カンサイのハラスメントに関する就業規則の確認と共有を図りました。

●社内相談窓口、社外相談窓口の設置の発表と相談に際しての注意事項と対応手順の確認を行いました。

以上のことを踏まえ、最後に社長よりセクハラ・パワハラ撲滅の宣誓が行われました。

●その後、コミュニケーション向上を目的として、本社屋前でバーベキューが行われました。

## 【今後】

●今回の研修を終えた後に、顧問弁護士によるアンケートを実施して研修の成果を検証します。また、一人ひとりが行動や言動に注意を払いカンサイからセクハラ・パワハラの被害者を出さないように努めていきます。

## 【研修終了後の感想】

●大変勉強になった。継続して開催したい。自らの言動に注意をすることが大切。相手のことを考えて会話をするなど、前向きな意見が多く寄せられました。



バーベキューの様子



ハラスメント研修の様子

## 5 ジェンダー平等を実現しよう

## 【組織全体の取組み】

●カンサイは、顧問弁護士によるセクシャルハラスメント・パワーハラスメントの社員研修を全社員が受講し各種ハラスメントが起きないように努めています。

## 2) 環境力道場

### 【環境力道場とは?】

●環境力道場はその名の通り、環境力を身につけることによりカンサイ独自のビジネス展開と持続可能な社会づくりへの貢献を目指し、皆で道場のごとく意見をぶつけ合い、互いの理解を深め各自の能力向上を図る社員研修です。  
外部講師(環境文明研究所、加藤三郎先生、藤村コノ卫先生)を招いて実施しています。

### 【活動内容】

●廃棄物業界の最新情報や地球温暖化問題等を幅広く学び、今後の事業展開を模索しました。  
●46期(2013年度)から始まった環境力道場を継続して取組むことで、知識を知恵に変え、自ら考え行動できる社員を育てています。52期からは全社員が参加をして、持続可能な会社とは何か?事業と結び付けて、自分たちが担うべき役割を明確にし、中期目標を作成し、その目標達成のための取組みを明確にしました。

### 【今後】

●環境力道場を継続開催して、各部署ごとの中期目標の達成に向けて取組み、成果を上げていきます。  
●各部署ごとの成果が部門間の連携に波及して、相乗効果が生まれ、より活発な会社づくりに繋がる研修を目指してまいります。



環境力道場でのレクリエーションの様子

	31年度	10年度
会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業車の全ハイブリット化</li> <li>処理方法を種類に頼らないリサイクル方法が定着している</li> <li>配車に余裕があり積極的な営業ができています</li> <li>すべての営業マンが売上金額を稼げる</li> <li>お客様ニーズに応えられる体制ができています</li> <li>エニ確定の取得</li> <li>営業部員7名</li> <li>売上高 7.5 ~ 8億円</li> <li>売上比率 官庁4、民間6 (個人札持特)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業トークのアドバンซ์になる</li> <li>地域になくてはならない存在になっている</li> <li>いくつものリサイクル技術を開発している</li> <li>リサイクル方法の増強ができ、お客様とのきずなが深まっている</li> <li>営業部員 郵便一帯(官庁、個人)計一帯(営業)</li> <li>営業部員10名(50代2名、40代3名、30代3名、20代2名)</li> <li>売上高 10 ~ 15億</li> <li>売上比率 官庁2、民間8</li> </ul>
個人	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人営業目標 1億3千万(売り上げ)、年間100万円/月</li> <li>年間売上500万(年間)</li> <li>ある程度仕事を任せられる人材になっている</li> <li>法令順守</li> <li>処理しやすく建設的・廃棄物の仕事を返る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>官から民へ、建設からリサイクルへ、受け手の営業から廃棄物へ</li> <li>年間500万円/月、年間売上500万円</li> <li>関わりを引く振っている人材になっている</li> </ul>

営業部の中期計画表

## 3) カンサイ理念手帳

### 【カンサイ理念手帳(フィロソフィー)とは】

●フィロソフィーとは、日本語で『哲学』のことです。私たちカンサイは、人と人との調和・人と自然との調和を大切に、全従業員の物心両面の幸せを追求する企業です。

### 【取組み】

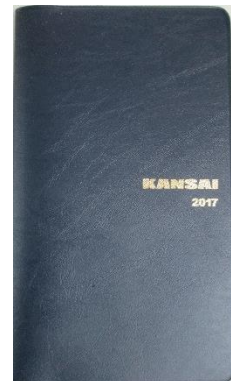
●一日一項目を読み上げています。記載されている内容を心掛けて仕事にあたり、終礼時には、内容と行動とのギャップを再認識して、日々の気付きなどを共有しています。

### 【今後】

●50期に完成した理念手帳の内容を一人ひとりがより深化させて、良いことがあっても悪いことがあっても、カンサイ社員としての判断基準にしていきます。  
●この理念手帳はこれで完成ではなく、日々の仕事を通じて得た新しい気付きとともに、今後の目標に向かって社員自らが修正・追加を重ね進化させていきます。



総務部朝礼の様子



カンサイ理念手帳

## 4) 社員研修旅行

●富士登山、しまなみウォーキングに続き、第三弾として金刀比羅宮に参拝しました。社員の団結力とコミュニケーション向上を目的として、7月7日に、社員22名で奥社までの1,368段を登りました。

### 【感想】

●今期の社員研修として金刀比羅宮へ参拝しました。その最大の特徴は、御本宮まで続く長い石段です。参道入口から御本宮まで石段の数は785段（奥社まで1,368段）。御本宮と展望台の間には奥社へ続く道があり、登りはじめは気温も高く御本宮までしか行けなまいらうと思っていました。しかし、奥社への道のりは木が鬱蒼と生い茂り、森に包まれているような涼しく気持ちのいいコースでした。奥社まではさらに583段、往復1時間以上かかりますが、ほとんどの人が挑戦し時間内に踏破しました。

道中は仕事を忘れ参加者全員がそれぞれの目標を持って、各々のペースで楽しむことができたと思います。参加者の普段とは違う一面も感じることができたのではないのでしょうか。

登りきったときの達成感と爽快感は絶大で、参拝してありがたさもひとしおに感じられます。何より参道まで下りて飲むビールの味は最高で、温泉で汗を流し美味しい食事もいただき、充実した一日を過ごさせてもらいました。



金刀比羅宮集合写真



金刀比羅宮研修中の様子

## 5) 安全運転講習会

### 【安全運転講習会】

●東京海上日動火災保険株式会社担当者をお招きして、交通事故防止の研修を行いました。

### 【取組み】

●事故事例を皆で検証し、何処に危険が潜んでいるかを共有するとともに、事故が起きた時の対応を学びました。また、事故を起こした際の責任などの講義を受けました。

●運転時におけるセルフチェックを行い、自分の傾向を把握し今後の運転に活かせるようにしました。

### 【今後】

●53期は、交通事故を起こさないように気をつけるとともに、研修等を通じて啓発を行っていきたいと思います。



安全運転講習会の様子

## 4 質の高い教育をみんなに

### 【組織全体の取組み】

●カンサイは、OURカンパニーの考えの元に環境力道場や社員研修旅行など多くの社員教育をしています。会社の宝である社員に各研修を通じ、より良い仕事ができ、より良い生活が送れるよう教育の場を設けています。





## 6) 火災訓練

### 【活動内容】

●本社工場内で火災が発生した想定で、本社工場・倉橋工場・業務部合同で火災訓練を実施しました。今期は、新入社員が多く入社したこともあり、消火栓使用時の注意事項と使い方の説明をした後、消火栓を用いた火災訓練を実際に新入社員2名に経験してもらいました。

### 【今後】

●火災はないに越したことはないのですが、万が一のことを想定して今後も定期的に訓練を実施していきます。



火災訓練の様子

## 7) 資格取得

資格名	取得者数 (51期)	取得者数 (52期)	資格名	取得者数 (51期)	取得者数 (52期)
環境計量士	1	1	第二種酸素欠乏危険作業主任者	13	15
特別管理廃棄物処理業（処分過程）	1	1	アーク溶接	6	7
特別管理廃棄物処理業（収集運搬）	1	1	高所作業車	3	3
産業廃棄物処理業（処分過程）	1	1	特定化学物質等作業主任者	7	7
産業廃棄物処理業（収集運搬）	1	1	有機溶剤作業主任者	4	4
産業廃棄物焼却施設技術管理士	1	1	玉掛	6	8
産業廃棄物中間処理施設技術管理者	1	1	足場	3	3
作業環境測定士	1	1	車両系建設機械（整地等）	11	11
臭気判定士	1	1	小型移動式クレーン	6	8
2級土木施工管理技士	5	5	フォークリフト	8	9
計量証明事業主任計量者	1	1	高圧洗浄作業	3	4
一般毒物劇物取扱者	1	1	職長教育	3	4
危険物取扱者（乙種第4類）	2	2	下水道管路管理技士	1	1
危険物取扱者（丙種）	1	1	小型ボイラー取扱業務	1	1
第一種安全衛生管理者	5	5	廃棄物の焼却施設に関する業務	4	4
運行管理者	2	2	廃棄物焼却施設（ダイオキシン類）作業指揮者	2	2
安全運転管理者	2	2	第二種電気工事士	3	3
二級ボイラー	1	1	ガス溶接	3	3

### 【取組み】

- 資格取得へのチャレンジでは、本社工場で「アーク溶接」を1名取得しました。
- 業務部では「フォークリフト」を1名、「高圧洗浄士」を1名、「職長教育」を1名、「玉掛」を2名、「小型移動式クレーン」を2名、「第二種酸素欠乏危険作業主任者」を2名取得しました。

### 【実績・評価】

- 必要な技能や教育を計画的に取得することができました。

### 【今後】

- 53期も必要な資格取得はもちろんのこと、社員のレベルアップのため、資格取得にチャレンジしていきたいと思っております。

## (1) 本社工場の取組み

【取組み内容】

- 作業時の指差し確認の徹底と啓発を行いました。事故や怪我はゼロにすることは難しいのですが、少しでも事故件数を減らし重大事故を起こさないためにも、ひとつの作業を確実にを行うよう指差し確認を徹底しています。
- 啓発のため指差し確認のボードを工場の各所に設置しました。その甲斐あって本社工場では、無災害日数が1200日（10/2現在）を継続しています。
- 半年に一度本社工場内に設置してある消火器の清掃と点検をしました。基準を満たしていない消火器については更新をしました。設置場所に指定数量の消火器が確実にあるか等の確認を行いました。



無災害ボード



指差し確認作業風景



消火器点検の様子



指差し確認啓発活動

## (2) 倉橋工場の取組み

【取組み内容】

- 無事故日数が5966日継続していましたが、つまずき転倒による労災事故が発生したことを受けて、日々何気なく行っていた作業にも多くの危険が潜んでいることを再認識し、朝礼時に行っている危険予知活動を密にして事故防止に取り組んでいます。また、設備の清掃時には清掃中の表示を操作盤に取り付けて、第三者が誤ってスイッチを入れる事故防止策を講じました。



朝礼の様子

### (3) 業務部の取組み

#### 【取組み内容】

●毎日出勤時にアルコールチェックを行いました。卓上用アルコール検知器を導入してから検出された人は0人で、飲酒運転撲滅に対する社員の意識も年々向上しています。また、アルコール検知器に運転免許証の有効期間も表示されますので、運転免許更新忘れがないよう注意喚起を行っています。

●大型車両駐車位置と大型ロールオンボックス設置位置を変更したため、車止めと白線を引き直して駐車位置と設置場所を明確にすることで、駐車場の整理整頓と接触事故防止を行いました。



アルコールチェック



駐車位置のライン引き

### (4) 組織全体の取組み

#### 【取組み内容】

●毎日朝礼前に、本社周辺道路の清掃と春夏には除草作業をし、秋冬には落ち葉の清掃を行っています。

●営業部は月に一度清掃範囲を広げて周辺道路の清掃を行っています。このような地道な活動を継続することで、周辺美化に気をつけています。



営業部清掃活動



毎朝の清掃



本社周辺除草作業の清掃

## 産業廃棄物収集運搬業許可一覧

許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島県	第03409004558号	令和3年09月01日	優	平成26年09月02日
岡山県	第03307004558号	令和5年06月18日	優	平成28年07月01日
島根県	第3200004558号	令和7年11月07日	優	平成30年11月08日
山口県	第03500004558号	令和7年11月24日	優	平成30年11月25日
鳥取県	第03104004558号	令和3年07月05日	優	平成26年07月06日
愛媛県	第3805004558号	令和7年08月28日	優	平成30年08月29日
高知県	第03900004558号	令和4年09月04日	優	平成27年09月05日
徳島県	第3600004558号	令和5年10月23日	優	平成28年11月08日
香川県	第03709004558号	令和5年05月26日		平成30年06月06日
兵庫県	第02803004558号	令和4年08月30日	優	平成27年08月31日
大阪府	第02700004558号	令和6年04月10日		平成31年04月11日

## 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可一覧

許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島県	第03459004558号	令和5年11月28日	優	平成28年11月29日
岡山県	第03357004558号	令和5年06月18日	優	平成28年07月01日
島根県	第3250004558号	令和5年09月02日	優	平成28年09月03日
山口県	第03550004558号	令和7年11月24日	優	平成30年11月25日
鳥取県	第03154004558号	令和8年02月01日	優	平成31年02月02日
愛媛県	第3855004558号	令和7年08月28日	優	平成30年08月29日
高知県	第03950004558号	令和4年09月04日	優	平成27年09月05日
徳島県	第3650004558号	令和5年10月23日	優	平成28年11月08日
香川県	第03759004558号	令和5年05月26日		平成30年06月06日
兵庫県	第02853004558号	令和4年08月30日	優	平成27年08月31日
大阪府	第02750004558号	令和6年04月10日		平成31年04月11日

## 産業廃棄物処分業許可一覧

許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島市	第07320004558号	令和4年03月21日	優	平成27年03月22日
呉市	第07422004558号	令和5年07月28日		平成30年07月29日

## 特別管理産業廃棄物処分業許可一覧

許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島市	第07370004558号	令和4年09月27日	優	平成27年09月28日

施設	処理方法	処理能力	事業所
回転炉床式焼却炉	焼却	6.6t/日	本社工場
ロータリーキルン式焼却炉	焼却	4.8t/日	本社工場
二軸剪断式破碎施設	破碎	木くず6.0t/日・・・他	本社工場
縦型圧縮梱包器	圧縮	繊維くず4.49t/日・・・他	本社工場
電気ヒーター熱分解方式	熔融	50m <sup>3</sup> /時	本社工場
移動式脱水車	移動脱水	50m <sup>3</sup> /日	本社工場
固化施設	固化	50m <sup>3</sup> /日	本社工場
天日乾燥施設	天日乾燥	50m <sup>3</sup> /日	本社工場
連続中和装置	中和	48m <sup>3</sup> /日	本社工場
安定化処理施設	安定化	4t/日	本社工場
発酵施設	発酵	15m <sup>3</sup> /日	本社工場
発酵施設	発酵	70t/日	倉橋工場

区分	産業廃棄物収集運搬業	産業廃棄物処分業
燃え殻	○	
汚泥	○	○
廃油	○	○
廃酸	○	○
廃アルカリ	○	○
廃プラスチック類	○	○
紙くず	○	○
木くず	○	○
繊維くず	○	○
動植物性残渣	○	○
動物系固形不要物	○	○
ゴムくず	○	○
金属くず	○	○
ガラス・陶磁器くず	○	○
鋳さい	○	
がれき類	○	
動物のふん尿	○	
動物の死体	○	
ばいじん	○	
産廃処理物	○	
石綿含有産廃を含む	○	

区分	特別管理産業廃棄物収集運搬業	特別管理産業廃棄物処分業
廃油	○	○
廃酸	○	○
廃アルカリ	○	○
感染性産業廃棄物	○	○
<b>特定有害産業廃棄物</b>	<b>特別管理産業廃棄物収集運搬業</b>	<b>特別管理産業廃棄物処分業</b>
燃え殻	○	○
汚泥	○	○
廃油	○	○
廃酸	○	○
廃アルカリ	○	○
鋳さい	○	○
ばいじん	○	○



## 収集運搬車両数量等

吸引車（10t/4t）：4台



吸引車は、大風量のブロフでタンク内を負圧にし、ホースの先から吸引します。液体物だけでなく、泥状物や粒子状の固形物の吸引が可能です。

ダンプ車（10t/3t/2t）：5台



スタンダードなダンプ仕様に加え、水密性箱型ダンプ仕様も用意して、あらゆる廃棄物に対応できるようにしています。

ウイング車（8t/4t/2t）：3台



主にドラム缶やフレコンバッグ等、容器に入れられた廃棄物を運搬する車両です。8t車では一度に34本のドラム缶を運搬することができます。

コンテナ車（10t/4t）：6台



お客様のところに専用コンテナを設置し、廃プラスチック類や脱水汚泥等の廃棄物を収集運搬する車両です。有機汚泥には密閉式コンテナも用意しています。

ユニック車（4t）：2台



トラックに取付けられたクレーンを使って、重量物を吊上げて積載する車両です。

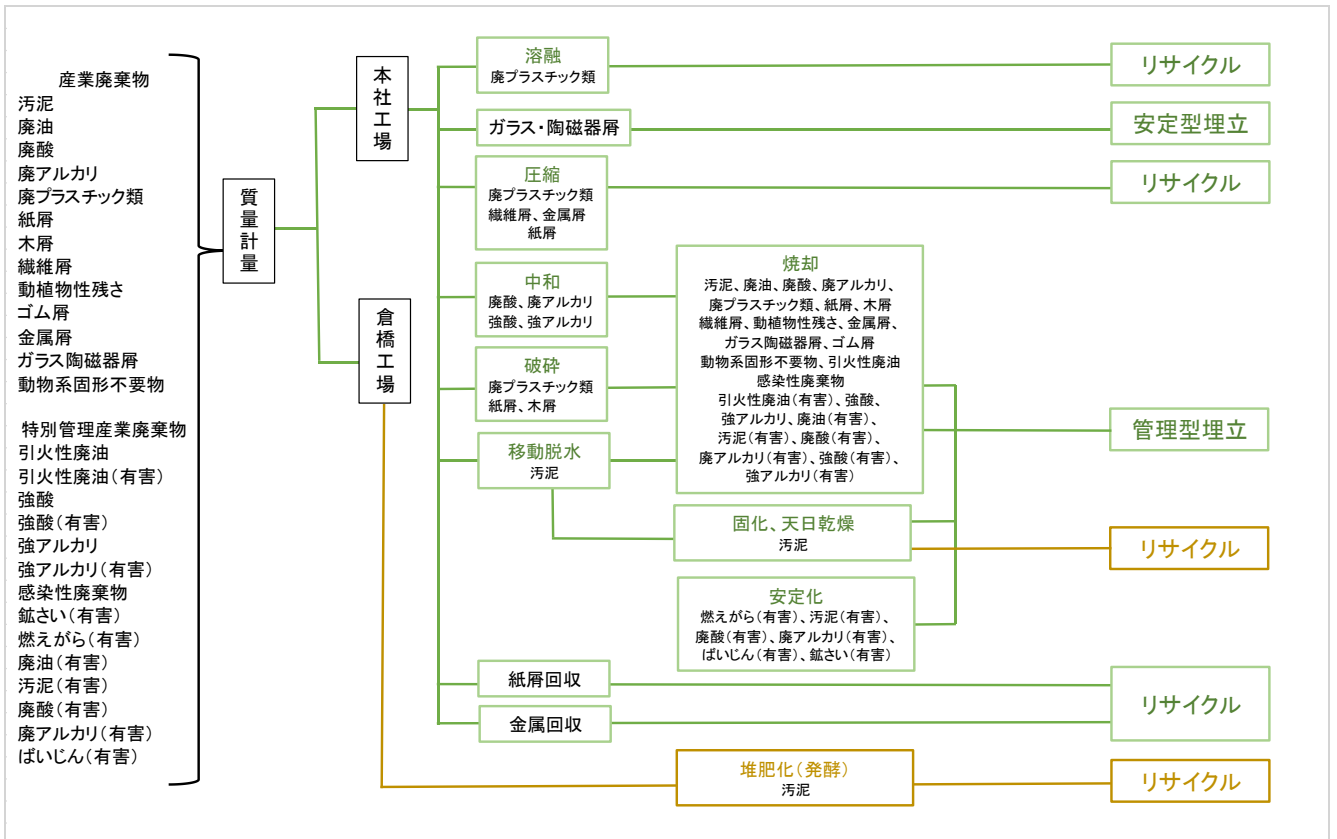
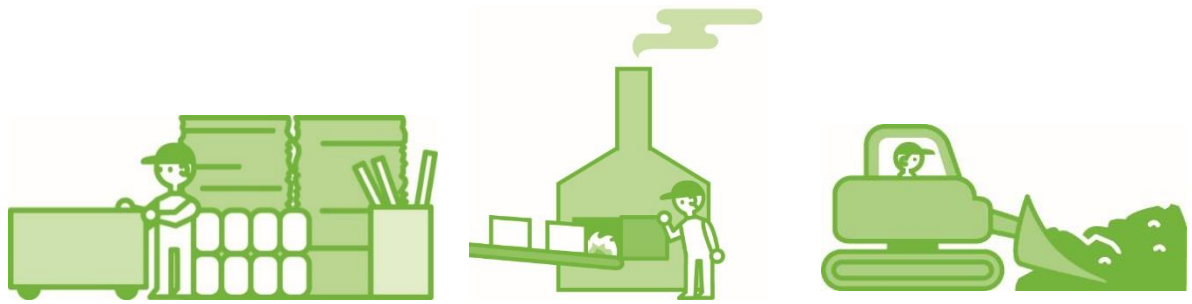
パッカー車（2t）：3台



街中でよく見かけるゴミ収集車です。小さな車両ですが、積載できる量は2tと多い車両です。

軽バンなどを合わせると全29台あり、あらゆる廃棄物に対応できるようにラインナップしています。

車種	車番	積載量(kg)	車種	車番	積載量(kg)
大型吸引車	1540	8850	4t水密ダンプ	8840	3600
大型吸引車	1785	7970	3tダンプ	4801	3000
4t吸引車	4707	2900	2tダンプ	3425	2000
4t吸引車	8126	2470	2tパッカー	8623	2000
8tウイング	2838	6800	2tパッカー	8624	2000
4tウイング	3086	2250	2tパッカー	8625	2000
2tウイング	2509	1500	4tユニック	3465	2850
大型ダンプ	3762	9800	4tユニック	3284	2550
大型平ボディー	9609	14100	軽バン	3392	350
大型アームロール	2710	10900	軽バン	3465	250
4tアームロール	5565	3900	軽バン	621	350
4tアームロール	8156	4000	TV車	9003	-
4tアームロール	1851	4050	洗浄車	7428	-
3tアームロール	8859	3000	給水車	7379	-
2tアームロール	2843	2000			



# 環境関連法規・訴訟

## (1) 当社に適用となる主な環境関連法規制等

法律・条例等	要項	主な内容
環境基本法	第8条	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業活動に伴い生じる公害を防止する</li> <li>事業活動に係る製品が廃棄物となった場合の適正処理の措置</li> <li>事業活動に係る製品が使用、廃棄されることによる環境負荷の低減と再生資源の利用</li> <li>国または地方公共団体の環境保全に関する施策への協力</li> </ul>
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第12条	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物の排出を抑制し、適正な分別、保管、収集、運搬、再生、処分等の処理を行う</li> <li>生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る</li> <li>マニフェストの交付、管理の遵守</li> </ul>
水質汚濁防止法及び広島県公害防止条例	第5条	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場及び事業場から排出される水の排出及び浸透を規制し、生活排水対策を実施する</li> <li>水質の汚濁の防止を図り、国民の健康を保護するとともに生活環境を保全する</li> <li>健康被害が生じた場合の責任を明確にし、被害者の保護を図る</li> </ul>
騒音規制法	第5条	<ul style="list-style-type: none"> <li>騒音についての必要な規制を行なうとともに、許容限度を定めることにより、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資する</li> </ul>
振動規制法	第5条	<ul style="list-style-type: none"> <li>振動について必要な規制を行うとともに、道路交通振動に係る要請の措置を定めること等により、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資する</li> </ul>
悪臭防止法	第4条	<ul style="list-style-type: none"> <li>悪臭について必要な規制を行い、その他悪臭防止対策を推進することにより、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資する</li> </ul>
大気汚染防止法	第2条	<ul style="list-style-type: none"> <li>ばい煙、揮発性有機化合物及び粉じんの排出等を規制し、有害大気汚染物質対策の実施を推進する</li> <li>自動車排出ガスに係る許容限度を定めること等により国民の健康を保護するとともに生活環境を保全する</li> <li>健康被害が生じた場合の損害賠償の責任について定めることにより、被害者の保護を図る</li> </ul>
ダイオキシン類対策特別措置法	第2条	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイオキシン類による環境の汚染防止及びその除去等をするため基準を定め、必要な規制、汚染土壌に係る措置等を定め、国民の健康の保護を図る</li> </ul>
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	第2条	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止する</li> </ul>
消防法	第17・21条	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民の生命、身体及び財産を火災から保護するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことで秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する</li> </ul>
肥料取締法	第4条	<ul style="list-style-type: none"> <li>肥料の品質を保全し、その公正な取引と安全な施用を確保するため、規格及び施用基準の公定、登録、検査等を行う。農業生産力の維持増進に寄与する</li> </ul>
建設業法	第3条	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設業を営む者の資質の向上、建設工事の請負契約の適正化等を図ることによって、建設工事の適正な施工を確保し、発注者を保護するとともに、建設業の健全な発達を促進する</li> </ul>
建設リサイクル法		<ul style="list-style-type: none"> <li>特定の建設資材について、その分別解体等及び再資源化等を促進する</li> <li>登録制度を実施し再生資源の十分な利用及び廃棄物の減量等を図る</li> </ul>
道路運送車両法		<ul style="list-style-type: none"> <li>所有権についての公証等を行い、並びに安全性の確保及び公害の防止その他の環境の保全並びに整備についての技術の向上を図る</li> </ul>
毒物及び劇物取締法	第4条	<ul style="list-style-type: none"> <li>毒物及び劇物について、保健衛生上の見地から必要な取締を行う</li> </ul>
計量法	第10条	<ul style="list-style-type: none"> <li>計量の基準を定め、適正な計量の実施を確保</li> </ul>
高圧ガス保安法	第9条	<ul style="list-style-type: none"> <li>高圧ガスの製造、貯蔵、販売、移動その他の取扱い及び消費並びに容器の製造及び取扱いを規制する</li> </ul>
放射線障害防止法		<ul style="list-style-type: none"> <li>放射性同位元素の使用、販売、賃貸、廃棄その他の取扱い、発生装置の使用及び放射性汚染物の廃棄その他の取扱いを規制し、これらによる放射線障害を防止する</li> </ul>
労働安全衛生法		<ul style="list-style-type: none"> <li>労働災害の防止のための危害防止基準の確立</li> <li>責任体制の明確化及び自主的活動の促進</li> <li>職場における労働者の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進する</li> </ul>
古物営業法		<ul style="list-style-type: none"> <li>盗品の売買の防止、速やかな発見等を図るため、必要な規制を行い、犯罪の防止を図り、その被害の迅速な回復をはかる</li> </ul>
フロン排出抑制法	第16条	<ul style="list-style-type: none"> <li>機器使用環境の維持保全、簡易点検</li> </ul>

## (2) 違反、訴訟等

当社における環境関連法規への違反は過去三年間ありません。また、関係当局からの指摘は無く、訴訟もありませんでした。



# (1) インターンシップ

●広島県立技術短期大学校・生産技術科から1名インターンシップに来てくれました。

## 【インターンシップを終えての感想】

- 社員の皆さんが社会人とはどのようなものかをお話くださったことで「社会人とは責任を果たし、顧客満足につなげるプロだ」ということを学びました。
- 業務に就くことはそのプロになることで、自分の仕事を全うし緊急事態にも余裕をもって対応する姿を見習いたいと思いました。
- 仕事に就くことは同時に社会に対する責任が発生することであり、この責任を果たすことで、仕事にやりがいを持っている人が社会人だということがわかりました。

**働くことのやりがいと厳しさを学びました！**  
生産技術科1年 18101 題名 加藤剛

**株式会社カンサイ**  
平成31年2月18日(月)～2月22日(金)

●実習先インフォメーション  
【所在地】  
広島市中区五丁目町石内666番地  
【主な業務内容】  
パッカー車・ウイング車での収集業務の手伝い



【 会社の外観 】

●主な実習内容  
【1日目】  
午前 2トパッカー車での収集業務  
午後 4トウイングでの収集業務  
【2日目】  
下水管路(干田地区)  
テレビカメラ調査業務  
【3日目】  
緊急作業  
【4日目】  
4トウイング車での液体収集業務(広島大学)  
【5日目】  
午前 2トパッカー車・2トアームロール車での収集業務  
午後 4トウイング車での収集業務

●インターンシップを終えて  
インターンシップに参加した目的は、これから自分が社会人になる中でマナーや知識を身につけること、会社で働くとはどういうことなのかを知ることです。  
実習先ではたくさんの方に出会い、とてもよくしていただきました。現場の業務もとても勉強になりました。特に、社員の皆さんの社会人とはどのようなものかをお話くださったことで「社会人とは責任を果たし、顧客満足につな

げるプロだ」ということを学びました。人にとって仕事に懸命に取り組む姿勢は素晴らしいものだと思います。業務に就くことはそのプロになることで、自分の仕事を全うし緊急事態にも余裕をもって対応する姿を見習いたいと思いました。とても忙しく休みが無い状態でも、仕事を中途半端にすることは許されませんし、体調が悪くても休むということもあります。  
「仕事に就く」ことは同時に「社会に対する責任が発生する」ことであり、この責任を果たすことで、仕事にやりがいを持つている人が社会人として成功しているのだということがわかりました。

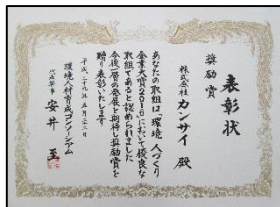


【 ゴミをパッカー車に投げ入れる様子 】

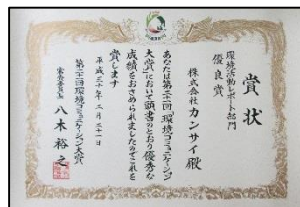
今の私に足りないものは、ビジネスマナーや敬語の勉強でした。頭ではわかっていても、いざ実際にいざという瞬間をする際、どのようにしたらよいかの感覚が足りていない、うまく伝えられないことの繰り返しでした。質問の仕方一つではありません。場合に応じた色々な聞き方があります。今回はコミュニケーションの輪を広げて、すばらしい人との関わりを持つために、言葉の幅を広げられるよう、目頃から実践しなくてはならないと強く思いました。  
最後に、大変お忙しい中、丁寧に指導くださった品川課長様をはじめ、カンサイ職場の皆さま本当にありがとうございました。

1

# (2) 賞 暦



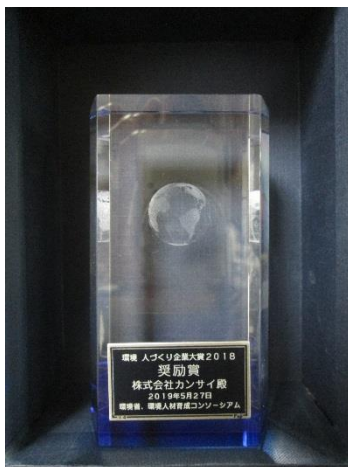
「環境人づくり企業大賞2016 奨励賞」



「第21回環境コミュニケーション大賞 優良賞」



「環境人づくり企業大賞2018 奨励賞」



## 【審査委員会からの講評】

●人類と自然との調和を大切にするという企業理念のもとで、カンサイ理念手帳を社員間で議論によって作成したことは素晴らしい評価ポイントである。自ら考えて行動するような社員教育は良いモデルケースになりうる。このことにより事業への好循環も見られた。また、エコアクション21でCO<sub>2</sub>負荷削減を進めるとともに、各部署単位でCO<sub>2</sub>排出目標を立てて進捗状況をネットワークで共有すること、家族会を作って社員家族を含めた人材育成とコミュニケーション向上することを高く評価したい。今後もこのような主体性を発揮した取組みを継続していただきたい。

# スーパーカイド

## 【肥料について】

- 倉橋工場では、下水処理場やし尿処理場において生活排水を浄化する際に発生する廃棄物である汚泥を受け入れ、好氣的に発酵処理し、肥料「スーパーカイド」へとリサイクルしています。
- 「スーパーカイド」の特徴としては、葉や茎の生長に欠かせない窒素と、開花・結実、根の伸長に役立つリン酸を豊富に含んでおり、野菜、果樹、稲作、花卉、芝生、植木などに幅広くご使用いただけます。十分に発酵処理していますので、未熟堆肥のような生育障害の心配がなく、元肥にも追肥にも利用できます。農産物だけでなく肥料も地産地消していただけるように、地元の方々へアピールしていきたいと思っております。
- 下の写真は、リサイクル肥料カイドを使用して家庭菜園やガーデニングを楽しんでいる社員たちの花壇や畑の様子です。

肥料お求めはこちらまで・・・

TEL：(082) 941-1641

TEL：(0823) 53-1823

カンサイ総務部

カンサイ倉橋工場

## 12 つくる責任つかう責任

### 【倉橋工場の取組み】

- 倉橋工場では、下水汚泥を発酵させ環境にやさしい堆肥を製造し個人や農園で使用してもらい農作物生産の手助けをしています。

12 つくる責任  
つかう責任



下水汚泥の混合



発酵状態



リサイクル肥料カイド



# 14 53期の活動計画

※53期も引き続き、環境力道場を部署単位で開催して、全社員のレベルアップと共通認識を図ることに重点を置いた社員教育に取組みます。  
 ※セクハラ・パワハラ撲滅に取組みます。

	目標	活動内容	実施時期	該当部門
重点取組み	環境力道場の開催	理念手帳の浸透	通年	全社員
		部署内の課題を抽出し、解決する		
	ハラスメントの撲滅	相談窓口設置と運用	通年	代表取締役

環境	(1) 回転炉床・ロータリーキルンの重油使用量の削減 回転炉床電力使用量の削減	管理体制の強化、随時改善する	通年	本社工場	
		プラント運転管理者の技術の向上			
	(2) 業務車両のガソリン・軽油使用量の削減	ドライブレコーダーの運用	通年	業務部	
		および管理体制の強化			
	(3) 営業車両のガソリン使用量の削減	エコ運転の教育・徹底	通年	営業部	
	(4) 重機の軽油使用量の削減 電力使用量の削減	点検マニュアルの改善	通年	倉橋工場	
		および管理体制の強化			
(5) 事務所電力使用量の削減	こまめな節電	通年	総務部		
(6) 燃え殻・汚泥・肥料・排水維持管理	分析及び各部署への伝達	通年	環境計量室		
(7) グリーン購入率の向上	エコ商品購入品の推奨と管理	通年	総務部		
環境改善	(1) ムリ・ムダ・ムラの排除	仕事内容の精査と見直し	通年	全社員	
	(2) 場内全域の環境対策	受入れ設備の改良・飛散防止対策	通年	本社工場	
	(3) 施設の改善	分別機の稼働	通年	本社工場 倉橋工場	
		老朽設備の更新計画の作成と実施			
	(4) 在庫管理の強化	搬入物の管理による処理計画と実施	通年	本社工場 倉橋工場	
	(5) 各環境測定の実施	ダイオキシン測定ほか	通年	本社工場	
(6) 交通事故防止	事故事例の再検証と啓発活動	通年	業務部		
コミュニケーション	(1) ステークホルダーからの要望への対応	お客様の要望・意見・提案を回収と共有	通年	全部署	
	(2) 社員とのつながり	毎月誕生日の人をお祝する	通年	総務部	
		永年勤続者の表彰			
	(3) 家族とのつながり	社内報の内容を充実させる	年2回	営業部	
		家族見学会の企画・実施	6月	総務部	
	(4) ステークホルダーとのつながりの拡充	地域清掃活動への参加	通年	営業部	
	(5) 見学者の受け入れ拡充	部署間での事前協議	通年	営業部	
(6) 福利厚生拡充	社内サークルの立上げ	通年	実行委員		
(7) 積極的な情報公開	ホームページの充実	通年	総務部		
教育	(1) 自社活動内容の理解度向上	年1回全体教育の実施	5月	EA21事務局	
	(2) 資格取得へのチャレンジ	リストアップと計画取得	通年	全部署	
	(3) 知識の向上	随時各講習会、講義の参加	通年	全部署	
	(4) 緊急事態（自然災害）への対応	自然災害へのリスク調査（中期計画） 火災訓練等の実施	通年	全部署	
安全衛生	(1) 1年間無事故無災害	指差し確認の徹底と啓発	通年	本社工場 倉橋工場 業務部	
		交通事故の防止			事故事例の再検証
		飲酒運転禁止			アルコールチェッカーの運用（基準値0mg）
	(4) 5S活動の推進 （整理・整頓・清掃・清潔・躰）	一仕事一片付けの推進	通年	全部署	
		毎週金曜日の清掃活動			
(5) 安全衛生協議	月次報告会内にて設置	月1回	EA21事務局		
情報公開	(1) 廃棄物処理法の遵守	収集運搬業、処分業の許可更新	通年	全部署	
	(2) 関連法規の遵守	関連書類の提出と保管	通年	全部署	
	(3) 環境活動レポートの発行	11初旬に52期版を発行	9~10月	EA21推進メンバー	

作成日 2019年9月15日

パリ協定以前から、業界としてはいち早くCO<sub>2</sub>の排出抑制の取組みを開始し、レポートでも毎回報告されていましたが、その継続的な取組みによって、気候変動に取り組むことの重要性が全社的にも理解され取組みも定着してきたことはうれしいことです。また、温暖化防止がSDGsの土台であり、脱炭素への取組みが持続可能な社会づくりにつながるという観点から、今回から新たに、それぞれの取組みをSDGsの17の目標とも関連付けて表記している点も評価されます。

さらに、現場写真などを多用していることで、従業員の皆さんの日頃の取組みや活動の様子がよく伝わり、情報公開の頁も充実してきたことで、全体を通して、カンサイという会社がどんな仕事をしているのか、どんな工夫をしてCO<sub>2</sub>削減や業務環境の改善に努めているかなどが読者によく伝わる内容になっています。環境レポートを継続してみている者として、取組みの継続的な努力だけでなく、多くの方に読んで頂けるよう読みやすいレポートにする工夫も継続されていることを高く評価したいと思います。

その一方で、いくつかの課題も伺えます。

早い時期からCO<sub>2</sub>の排出抑制に努めてきた分、その限界が見えてきたことです。電力や車の使用などに関しては、部署ごとの見直しと改善もある程度できそうですが、工場で使用する燃料に関しては、作業に伴う工夫・努力だけでは削減が難しくなっていることです。これは、カンサイに限らず、脱炭素社会に向けた取組みがいかに大変なものかを示すもので、いずれ他社からも同じような悩みが浮上してくると思われま

す。今後は全社的な見直しに加えて、例えば、中期的には電源や燃料の変更や、排出事業者など関連する事業者にもCO<sub>2</sub>削減の重要性を理解して頂き、協力して頂くことも考えていく必要があるかと思ひます。大企業同様に中小企業でも、サプライチェーンまで視野に入れた取組みが求められる時代になりつつあることを理解しておく必要があると思ひます。

また、昨年もコメントしましたが、環境力道場をはじめとした多くの学び、そこで培われたコミュニケーション力や連帯力、さらに『カンサイ手帳』に綴られた精神を活かして、『環境創造総合企業』という目標をいかに実現していくかです。個々人の能力や人間性だけでなく、カンサイという会社の総合力も以前に比べて確実に向上しています。その力を活かして、名実ともに、『環境創造総合企業』として進化し成長していくことを期待しています。



2019年10月

環境文明研究所 加藤三郎、藤村コノエ

お陰様で52期も無事終わることが出来ました。お客様の引き合いも多く、地域住民や関係官庁との関係性もとても良好です。ここ数年は従業員の定着率も良く、安心して経営を行うことが出来ています。

53期は中間処理施設や収集運搬車両等の設備強化もさることながら、「環境力・人間力」を高める社員研修（第5回環境力道場）を行います。共に人格を高め、おもいやりの心を養いましょう。人との関わり合いの中でそれぞれが仕事をしていきます。自分にできることは何かと考えながら、前向きに仕事と向き合い、協力し合える環境を創っていきましょう。

株式会社 カンサイ

代表取締役 川本 義二

## 17 編集後記

近年の大型台風や豪雨災害などの異常気象で、地球温暖化問題やパリ協定などをメディアで目にする機会が増えています。しかし、多くの人が、自らの仕事や生活でどう行動を起こせばよいか解りにくいものではないかという印象を私自身もっています。そこで、このレポートを読むことで、どのような行動が地球温暖化問題への取組みなのかというヒントがつかめると思っています。また、そうした取組みが脱炭素社会につながるだけでなく、SDGsの目標である持続可能な社会づくりにもつながると考え、今回から本格的にSDGsへの取組みも掲載しています。

一方ここ数年、CO<sub>2</sub>削減をリードしてきた本社工場の取組みが頭打ちとなり、思うような結果が出ていません。しかし、倉橋工場や本社事務所の地道な取組みは成果がでました。これは、長年継続開催している環境力道場の取組みが花開いたものなのでしょう。カンサイ全体でCO<sub>2</sub>排出抑制に向けた取組みが根付きつつあることを、このレポート編集をしながら感じました。また、CO<sub>2</sub>排出抑制だけでなく、ハラスメントに関する教育や社内コミュニケーションの充実等で、働きやすい職場づくりにカンサイがいかに力を入れて取り組んでいるかが分かる内容になっていると思います。

環境管理責任者  
北川 貴伸

株式会社カンサイは、環境創造総合企業を目指しています



株式会社 カンサイ

住 所 〒731-5102

広島県広島市佐伯区五日市町大字石内460番地

連絡先 TEL：(082) 941-1641

FAX：(082) 941-1715

E-mail：kansai@ekansai.co.jp

発行責任者

環境管理責任者・北川

エコアクション21事務局・山田